ディスカバー

オフィシャル
トラベルガイド

ニューイングランド

コネチカット | メイン | マサチューセッツ | ニューハンプシャー | ロードアイランド | バーモント

アドベンチャー
人々と文化
過去と現在
家族で楽しむ
エコ・トラベル
隠れた名所

discover NewEngland

ようこそ

朝には海に浮かぶヨットの上でコーヒーやミモザを片手に朝日を眺める。そして、午後には高く美しく聳える山でハイキング。こんな1日を送ることのできる場所は、世界中を探しても多くありません。しかし、それこそがニューイングランドでのバケーションが約束していることなのです。海の向こうから海岸まで、絵本の中の村から世界的な都市まで、すべて数時間のうちに見て体験することができます。

ニューイングランドの6つの州は、それぞれユニークな生活様式を持ちながら、歴史や伝統、豊かで変化に富んだ風景ですべてがつながっていて、1週間、1ヶ月、あるいはそれ以上滞在しても、毎日が新しい発見でいっぱいです。これほど小さな土地で、あらゆる世代が楽しめるアドベンチャーができる場所は、他にはありません。

海や山の幸に舌鼓を打ち、小さな町や都市から聞こえてくるローカルミュージックに耳を傾ける。この地を古くから故郷と呼ぶ人々の歴史と遺産に浸りながら、新しい味、アイデア、また経験によってこの地を絶えず豊かにする文化のモザイクである今日のニューイングランドを探検することもできます。冬のワンダーランドで遊び、春と夏の新鮮な花々やフェスティバルを楽しみ、ニューイングランドの有名な紅葉の季節の素晴らしい色彩の中に飛び込んでみてはいかがでしょうか?

ニューイングランドは、多様性とサステナビリティを大切にしており、何度でも足を運ぶ価値のある場所です。私たちの故郷について、そして私たちが共有する物語についてもっと知りたいと思っていただけたことに私は感激しています。

バーモント、ロードアイランド、ニューハンプシャー、マサチューセッツ、メイン、コネチカットの各州を代表して、皆様をニューイングランドにお迎えします!

Michele Cota
エグゼクティブ・ディレクター
ディスカバー・ニューイングランド

discover NewEngland

YANKEE PUBLISHING INC.
1121 Main St., P.O.Box 520
Dublin, NH 03444
603-563-8111; newengland.com

ディスカバー・ニューイングランド
copyright 2023 by Yankee Publishing Inc.;
all rights reserved.

発行者
Brook Holmberg

エディター
Mel Allen

アート・ディレクター
Katharine Van Itallie

フォト・エディター
Heather Marcus

マネージング・エディター
Jenn Johnson

トラベル・エディター
Kim Knox Beckius

マーケティング・ディレクター
Kate Hathaway Weeks

シニア・アドバタイジング・マネージャー
Valerie Lithgow

プロダクション・マネージャー
Brian Johnson

シニア・プロダクション・アーティスト
Jennifer Freeman

コントリビューティング・ライター
Robert Curley

表紙写真
ロードアイランド州ニューポート沖で日帰りセーリング、写真提供: Maria Burton

コンテンツ

マサチューセッツ州ファルマスのシャイニング・シー・バイクウェイで大西洋に沿って走るサイクリストたち。

11

7 アドベンチャー

8 水上で楽しむ！：海岸でのサーフィンから内陸の大河でのラフティングまで、ニューイングランドではウォータースポーツを存分に楽しむことができます。

10 スリル満載の冬：気温が下がると、屋外 (屋内でも！) での楽しみ方も多様になります。

11 バケットリスト – 絶景スポット探索：ニューイングランドには絶景を楽しめる有名なルートがたくさんあり、徒歩や自転車で移動する探検をおすすめします。

15 人々と文化

16 先住民の遺産：ニューイングランドの先住者たちの芸術、音楽、言語、物語に触れて一緒に祝いましょう。

18 世界の文化：食事やフェスティバルなど、この地域が持つ豊かな世界観に触れてみましょう。

19 黒人の歴史：学習センターやランドマークは、ニューイングランド地方の黒人が果たしてきた多くの貢献に光を当てています。

23 過去と現在

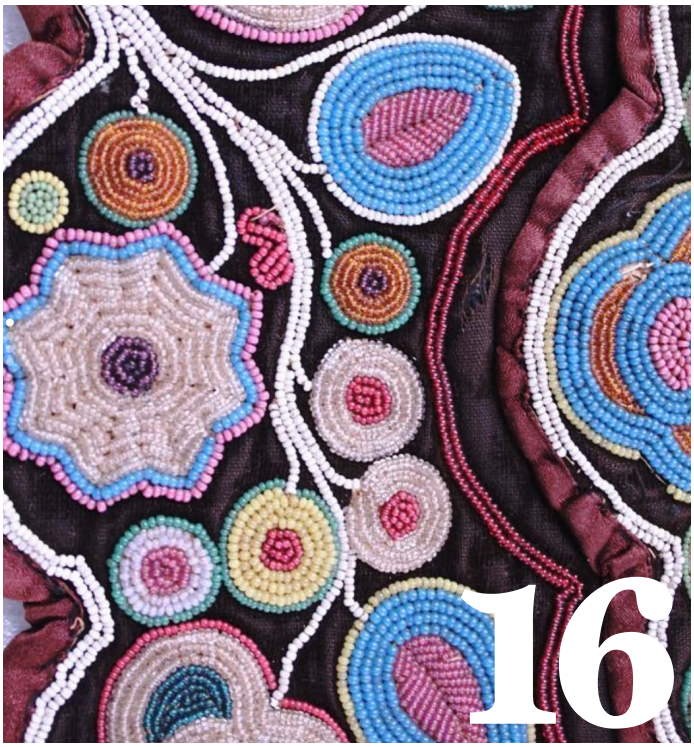
24 伝統的な食事：ニューイングランドの伝統的な飲み物や料理は、現代の食通にも喜ばれています。

26 時代を超えるステージ：歴史ある劇場は、現代の才能あるパフォーマーにとってスリリングなお披露目の舞台です。

27 生き続ける歴史：昔のニューイングランドに新しい息吹を吹き込む、没頭せずにはいられない博物館で時間を遡りましょう。

写真：CATE BROWN

コンテンツ



31 家族で楽しむ

32 ステイ&プレイ：大家族での旅行を計画していますか？ニューイングランドのリゾートは、まるで我が家のようにくつろげます！

34 オールエイジ・クルーズ：老若男女を問わず、ニューイングランドを訪れた全ての旅行者が楽しめる穏やかな観光船で水上を満喫しましょう。

35 絶景の散歩：ニューイングランドの美しい風景を、誰もが楽しめるペースで散策してみませんか？

39 エコ・トラベル

40 環境に配慮したホテル：環境へのイノベーションと伝統的なおもてなしで最高の眠りを提供します。

41 緑に包まれる体験：農園の新鮮な食材を使った料理や、オフグリッドでの宿泊で大地をより間近に感じることができます。

42 野生動物との出会い：ニューイングランドの様々な生息地や在来種について学ぶことができるアドベンチャーです。

46 隠れた名所

48 アートディスカバリー：有名な美術館の先には、探す価値のある素晴らしい名画やコレクションがあります。

50 秘密の花園：思いがけない場所にこそ、ドライブで見に行く価値のある花々が咲いていることがあります。

51 食の舞台裏：グルメな皆様のための特別な小道は、ニューイングランドで最も美味しい食べ物や飲み物の源へと導いてくれます。

54 リソース

ニューイングランドの魅力を体験する準備はできましたか？コネティカット、メイン、マサチューセッツ、ニューハンプシャー、ロードアイランド、バーモントの各州の観光担当者が、必要な情報や連絡先をまとめました。ぜひご活用ください！

写真(上)：世界的に有名なスミソニアン博物館と提携した州内初の博物館であるメイン州のアッベ博物館で、ネイティブアメリカンの工芸品の芸術性を堪能しましょう。(16ページの「先住民の遺産」を参照)

写真(下)：コネチカットのワイン・トレイルの一部であるゲイルズフェリーのホルムバーグ果樹園＆ワイナリーは、ワイン愛好家に人里離れた非日常的な体験をさせてくれます。(51ページの「食の舞台裏」を参照)

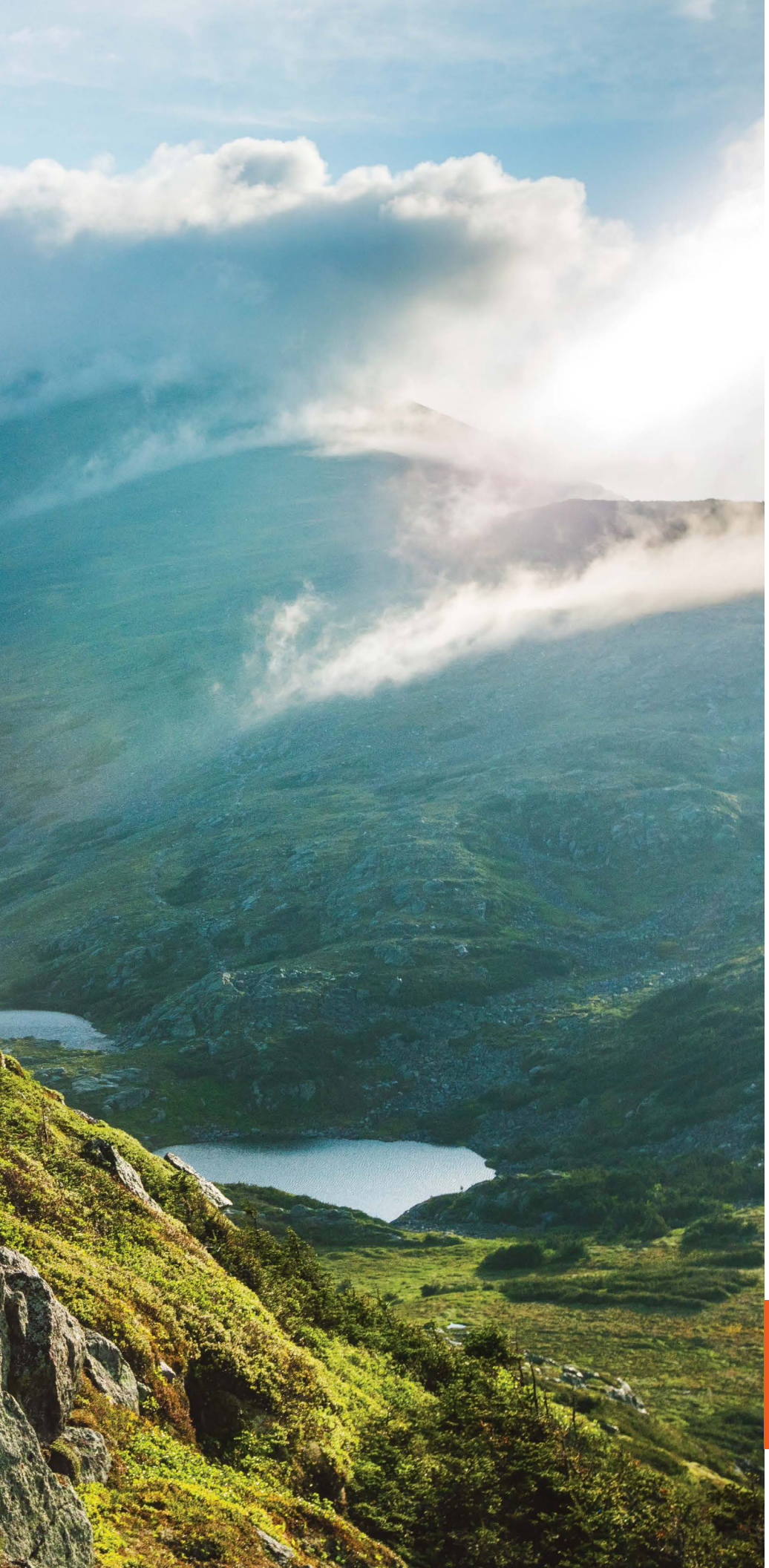
写真：メイン州バーハーバーのアッベ博物館所蔵のミクマク族のビーズポーチ［#92-07］(上)、冬のカプランソン(下)

ニューイングランド

アメリカ合衆国の北東部に位置するニューイングランドは、高い山々、豊かな農地、風が吹き抜ける海辺など、大自然に囲まれた素晴らしい土地です。 歴史にあふれ、気迫に満ちたこの街には、全米で最も人気のあるアトラクション、大学、スポーツチームがあります。四季の変化が感じられ、大都市と小さな町が絶妙に混在しているニューイングランドは、とても人気の高い旅行先です。

さぁ今すぐ旅の計画を立てましょう！

アドベンチャー



広いアメリカの中でも、いくつもの小さな州がコンパクトに集まったニューイングランド地方ほど、アドベンチャーを求める旅行者にとって選択肢が多い地域はないと言っても過言ではありません。山頂からの壮観な眺めを満喫し、下山してからほんの2時間のうちに、野性の草木が生い茂る島へ向かってシーカヤックで海に漂い満喫する。ニューイングランドのほぼ全州を通り抜ける長いうねり道のアパラチアントレイルは理想的なハイキングルートとしても有名です。世界中の釣り人たちを魅了するホワイトウォーターラフティングや深海釣り。海を愛する人々は、この地域の海岸や港の美しさは唯一無二だと評しています。

ニューイングランドのアドベンチャーは、季節の移ろいが反映されています。冬には、多くのオリンピックや世界大会のメダル受賞者を生み出した、歴史あるスキー場が降り注ぐ雪で銀色に染まります。夏には、自然のままの姿を残した湖の美景を眺めながらサーフィンやパドルボードを楽しむことができます。湖の宝庫であるこの地方で、水面が美しく輝く湖に出会わない場所はほとんどないでしょう。秋の山々は、まさにそれだけでアドベンチャー。世界有数の色鮮やかな紅葉を、ウォーキングやサイクリング、ボート、さらにはジップラインで堪能することができるのです。

アドベンチャーは最高の現実逃避方法。ニューイングランドに足を踏み入れて、その魅力に触れてみませんか？

ニューハンプシャー州：1819年に整備されたクロフォード・パスは、プレジデンシャル山脈を通り、ワシントン山の頂上へと向かう、目を見張らずにはいられない旅路です。
(11ページの「バケットリスト – 絶景スポット探索」を参照)

アドベンチャー

水上で楽しむ！

内陸の大河から常に変動する大西洋まで、ニューイングランドの海は長い間、冒険家たちを魅了してきました あなたの旅程に水のしぶきを加えてみませんか？ここではいくつかのアイデアをご紹介します：

ロードアイランド州は、「海の州」の愛称で呼ばれ、きらめくナラガンセット湾は最高のアドベンチャー・デスティネーションとなっています。50年以上に渡ってアメリカズカップが開催されてきたニューポートの街には、毎年セーリングファンが集まります。今も多くの元チャンピオンヨットが、ツアー会社の運営によってこの海を滑走し、観光クルーズだけでなくレース競技体験のスリルも味わえます。サーフィンというスポーツに足を踏み入れたい方々に朗報です：ロードアイランド州は、ニューイングランド南部で最も勢いのあるうねりが見られる場所です。特にナラガンセットはのんびりとしたビーチタウンで、地元のサーファーが初心者に熱心にサーフィングレッスンをしてくれます。ロードアイランド州のサーフィンチャンピオンPeter Panagiotisが運営するピーターパン・サーフスクールでは、年間を通して素晴らしい指導を受けることができます。

メイン州は、穏やかさとワイルドさを兼ね備えた冒険を求めるパドラーたちを惹きつけます。メイン州南部には、州内最大規模の2つの塩性湿地があり、沿岸でのカヤックが盛んです。さらに、メイン州の3,500マイル(5,633km) に及ぶ長い海岸沿いには、パドリングで行ける距離に美しい島々があり、米国初の水の道「メイン・アイランド・トレイル」で有名な絶景スポットです。内陸部に目をむけると、メイン州がニューイングランドの急流ラフティングの中心地と言われている理由がよくわかります。ペノブスコット川、ケネベック川、デッド川は、クラスIII、IV、Vの急流で有名であり、アメリカ東部で最も長い急流が途切れなく続いています。5月から10月にかけては、地元のアウトドアショップによる初心者から参加できるガイド付きツアーが開催されます。

詳細はこちら：DISCOVERNEWENGLAND.ORG/ON-THE-WATER

メイン州：North Country Outdoorsが率いるペノブスコット川のガイドツアーで急流体験を楽しむ人々。

ロードアイランド州：ナラガンセットのポイント・ジュディス灯台が見える海辺に集まるサーファーたち。

地元の豆知識

マウンテンバイクの目的地として

AMANDA ARLING
サイクリスト兼バーモント州イーストバークにあるVillage Inn at Kingdom Trailsの共同経営者

「**キングダム・トレイル**のことは、世界とまではいかなくても、北米中の人たちが知っています。100 マイル (161km) を超えるこのトレイルネットワークは、土地のほとんどが個人所有者から寄贈されたものであることが特徴です。このネットワークは、バーモント州の象徴であるグリーン山脈とウィロビー湖の美しい景色を望む稜線を横断していきます。また、マウンテンバイクや素晴らしいアウトドアを最大限楽しむために作られたコミュニティを体験することができます。

「ニューハンプシャー州では、**ベア・ブルック州立公園**に素晴らしいトレイルシステムがあり、ロードアイランド州では、ウェスタリー郊外の**ウッディヒル**に、誰もが楽しめるものがあります。初心者向けの流れるようなダブルトラック、専用のトレイルを好むライダー向けのフラットで速いシングルトラック、さらに上級者向けの高い技術を要するトレイルもあります。

「みんなコネチカット州はマウンテンバイクをしに行くところじゃないと思っているかもしれませんが、ミスティックに近い**ブラフ・ポイント**と**ヘイリー・ファーム州立公園**は、トレイルが楽しくて面白い (そしてすごく技術がいる) だけでなく、ロングアイランド湾の本当に豪華な景色が見られるので、私のお気に入りの1つです。

「メイン州での私の一押しは、実は**アカディア国立公園**です。公園の中の歴史ある馬車道では、必ずしもマウンテンバイクでなくても、グラベルバイクや幅広のタイヤを履いたロードバイクでも十分に楽しむことができます。テクニカルで難しいライドではありませんが、ニューイングランドで最も美しい景色を体験することができます。

「マサチューセッツ州西部の**サンダー・マウンテン**では、自転車をチェアリフトに乗せることができます。ダウンヒルマウンテンバイクを試したことがない人は、やり方を学ぶのに最適な場所ですし、経験豊富なライダーはテクニカルなフロートレイルが気に入ると思いますよ。」

写真：ノースカントリー川 (左)、PJ DOUGHERTY (右)、CHRIS SHANE (前ページ)

スリル満載の冬

ニューイングランドには、国内最高級のスキーリゾートがいくつもあります。でも、スキーやスノーボードをしなくても、冬のニューイングランドには楽しみが満載。気温が下がり粉雪が舞い始める季節だからこそのアウトドアアクティビティがたくさん。どのアクティビティもスリル満点で、誰でもワクワクさせられるでしょう。

ニューイングランドの北部には広大なスノーモービルトレイルが網羅しており、地元ショップのレンタルやレッスンを利用して、冬のエキサイティングなアクティビティのひとつである「スキーのついたオートバイ」を初心者でも体験することができます。**バーモント州**には、約5000マイル(8047km)にもわたる公共・私有のスノーモービルトレイルがあり、普段なら見ることのできない場所を探検することができます。また、バーモント州では、ハスキーやマラミュートなどの犬が引くソリに乗り、凍った野原を駆け巡る犬ぞりツアーも体験できます。

また一方で、アイスクライミングで別格のスリルを味わうこともできます。ニューイングランドには、ホワイトマウンテンやグリーンマウンテンズなど、アイスクライミングにぴったりの場所が多くありますが、別に高い山でなくともこのスリルを体験することはできるのです。ニューイングランドの最南部の州である**コネチカット州**には、初心者向けの氷壁があり、コネチカットを拠点とするAscent Climbingなどのアウトドアブランドが体験レッスンを提供しています。不可能に見えるアイスクライミングも、適切なツールと経験豊富なガイドのサポートがあれば、気軽に誰でも体験でき、存分に楽しめます。

詳細はこちら：DISCOVERNEWENGLAND.ORG/WINTER-THRILLS

▲ コネチカット州：アセントクライミングのガイド付き探検で、ピープルズ州立森林公園の輝く氷の壁を登るアイスクライマー。

◀ バーモント州：ノースイースト・キングダムのEden Dog Sledding Adventuresが提供する犬ぞりツアーで、まったく新しい方法で冬の景色を楽しんでみませんか？

写真：EDEN DOG SLEDDING (左); NATE MCKENZIE/ASCENT CLIMBING (右)

アドベンチャー

バケット・リスト・トレイル

マサチューセッツ州：長く伸びるケープコッド・レイル・トレイルとともに、シャイニング・シー・バイクウェイは、岬の美しさをユニークな視点で見ることができます。

ニュー イングランドには、あらゆる冒険家のために、様々な種類のハイキングやサイクリングトレイルが用意されていますが、これらのトレイルの中には、他とは一線を画すものがいくつかあります。歴史に彩られたトレイルや、想像を超える絶景を楽しめるトレイルもあります。そのどれもが、この地域の心と魂を表現する要素となっています。

ニューハンプシャー州では、北東部で最も高いワシントン山 (標高6,288フィート/1,916m) の頂上に行く方法がいくつもあります。最も忘れがたいルートは、200年以上前に初めて作られたクロフォード・パスかもしれません。急な上り坂、岩だらけの山頂、広々とした台地、頂上を目指す前にゆっくりと景色を眺めることができる場所など、ホワイト山地のすべてを1つのハイキングで体験できます。ホワイト山地は、サイクリングロードに関しても期待を裏切りません。ニューハンプシャー州を横断するクロス・ニューハンプシャー・アドベンチャー・トレイルは、ニューハンプシャー州の北半分を網羅する83マイル (133.5km) のサイクリングコースで、途中、数々の小さな山間の町を通過する素晴らしいコースです。1日でコースを巡ることはできますが、急がずゆっくり楽しんでみませんか？キャンプ用のテントを張ってみたり、地元の宿泊施設で温かいおもてなしを受けてみたりしてはいかがでしょうか。

ニューイングランドで最高の海岸沿いのサイクリング アドベンチャーを楽しみたいのなら、ぜひ**マサチューセッツ州**で有名なケープコッドを訪れてみてください。平坦で舗装された27.5マイル (44km) のケープコッド・レイル・トレイルは、ヤーマスからウェルフリートまでケープコッドの7つの町を通っており、そこには休憩やリフレッシュできる設備が整っているので、週末に全ルートを終えることができたらラッキーですね。枝分かれしたトレイルも数多くあり、その先には米国で最も貴重な国立公園の一つであるケープコッド国立海岸があります。魅力的な景色を短い距離で楽しみたい方は、ファルマスのシャイニング・シー・バイクウェイに向かいましょう。この岬の自然の美しさが完璧に凝縮された、シンプルで簡単に走れる10.7マイル (17km) のコースです。

詳細はこちら：DISCOVERNEWENGLAND.ORG/BUCKET-LIST-TRAILS

写真：CATE BROWN

マサチューセッツ州の
ライトハウス・トレイルを
走り抜けよう！
VisitMA.comをチェックして素敵な旅のプランを...
MASSACHUSETTS
visitma.com

ナウセット灯台
イーストハム、ケープコッド、
写真：
Paul Scharff

人々と文化

ニューイングランド地方は、州がつながっていながら、それぞれ異なる特徴を持つため、何を見るかよりも、誰と出会うかが旅の大きな楽しみとなります。この地域には、さまざまな文化、信仰、人種、アイデンティティを知り、楽しむことができる機会がたくさんあります。この先進的で歓迎に満ちた地域を探索するメリットの一つは、共通の物語を持つ多様な人々に出会えることです。また、そのような人々の生活を感じることができます。

ボストン、プロビデンス、ポートランドなどの大都市では、エスニックレストラン、多文化パフォーマンス、さまざまなバックグラウンドを持つ起業家が経営するショップなど、バラエティ豊かなお店が揃っています。一方、ニューイングランドの数千年にわたる先住民族の伝統や、アフリカ系アメリカ人がどのような困難を乗り越えてコミュニティを築き、永続的な貢献をしてきたかもっと学びたい…なんて時は、思いがけない魅力的な場所を旅することになるかもしれません。このような探求心こそが、多くの人々が世界を旅することに憧れる理由なのでしょう。それは、お互いの違いだけでなく、私たちに共通する人間性を理解するための旅なのです。

また、世界各地の文化にインスパイアされたフェスティバルに参加すれば、ニューイングランドを2度旅したような気分を味わえます。これは、休暇を最大限に活用するという意味でも、これからの人生を豊かにする異文化とのつながりを築くという意味でも、非常に大きな価値があるでしょう。

マサチューセッツ州：1982年に台湾からボストン市に寄贈された伝統的な牌坊門は、ニューイングランドで唯一の歴史あるチャイナタウンへの入り口を示しています。
(18ページの「世界の文化」を参照)

地元の豆知識

楽しくてフレンドリーなLGBTQの遊び場

ANDREW COLLINS
ニューハンプシャー州を拠点に活動するトラベルライターで、Ultimate Road Trips USA & Canadaなど多数のガイドブックを執筆

「**マサチューセッツ州ボストン**は、文句なしにニューイングランドでトップのLGBTQ都市で、特に歴史ある**サウス・エンド**は、活気あるゲイバーや賑やかなビストロがあります。あと、多様性に満ちた**ジャマイカプレイン**は、クールなインディーズのブティックやカフェがあるのでお見逃しなく！もう一つ、都会が好きな人にお勧めなのが、**ロードアイランド州プロビデンス**で、毎年6月に素晴らしいプライド・フェスティバルが開催され、世界唯一の夜のプライド・パレードを楽しむことができます。**コネチカット州ニューヘイブン**にあるイェール大学の重厚なゴシック建築の近くには、北東部で最も古いLGBTQバーのPartnersと168 York Street Caféがあり、交流の場となっています。

「ゲイのリゾート地といえば、**マサチューセッツ州プロビンスタウン**が有名ですが、静かでロマンチックな旅を求めるなら、オフシーズンの方がより魅力的であることに覚えておいてください。気を失ってしまうくらい美しいケープコッド国立海浜公園を探索する私のお気に入りは、Art's Dune Toursが提供しているサンセットツアーです。さらに北上すると、芸術の香り漂う海岸沿いの町、**メイン州オガンキット**があり、華やかなビーチシーンやLGBTQがよく訪れるバーやレストランなどが点在し、まるで小さなプロビンスタウンといった雰囲気です。

「**ニューハンプシャー州**にあるホワイト山地は、**フランコニア**、**ベツレヘム**、そして **リトルトン** といったLGBTQを歓迎する村々で形成されており、素晴らしいスキー、ハイキング、紅葉狩りのスポットから数分のところにあります。

「きれいな山々の保養地である**バーモント州ストウ**は、年間を通じて見どころ満載ですが、ニューイングランド最大のゲイスキー週間である1月のウィンター・ランデブーでは、LGBTQのバケーションスポットとしてとっても活気づきます。**バーリントン**にもついでに立ち寄ってみてください。いくつものバーやカフェ、シャンプレーン湖を見渡せる素晴らしいウォーターフロント・パークなどおすすめ所がいっぱいです。」

人々と文化

先住民の遺産

ヨーロッパ人と最初に触れ合う前の11,000年以上もの間、先住民は現在のニューイングランドに住んでいました。彼らが収穫した魚介類や農作物は、今日でもこの地域にとって重要なものです。また、ピルグリムがマサチューセッツ州プリマスに上陸してから400年経った今でも、この地の土地や水域に彼らがつけた名前の多くが残っています。

さらに重要なことは、先住民の文化が生き続けていることです。ニューイングランドのアルゴンキン族の誇り高き人々は、彼らの芸術、音楽、言語、物語を保存しようと努めています。ニューイングランドの各州では、これらの伝統について学び、その継承を支援する機会を提供しています。

全米最大のネイティブアメリカン博物館は**コネチカット州**にあり、レッドヤードにあるマシャンタケット・ピクォート博物館では、最後の氷河期から始まり、今日の部族の様子まで、インタラクティブな旅を楽しむことができます。北米最大級のリゾートカジノ「フォックスウッズ」をはじめ、エンターテイメントやホスピタリティ事業で大きな成功を収めているマシャンタケット・ペコット族は、独自の方法で彼らのサバイバルストーリーを伝えるために絶え間ない努力を重ねています。

詳細はこちら：DISCOVERNEWENGLAND.ORG/INDIGENOUS-HERITAGE

メイン州 を訪れた人は、バーハーバーにあり季節ごとに2つの拠点を持つアッベ博物館 (アカディア国立公園内にある小さな拠点、そして有名なスミソニアン博物館と連携したダウンタウンにある施設)で、ワバナキ族の物語と文化 「The People of the First Light」をぜひ学びましょう。 特に博物館ではワバナキ族のバスケット職人による作品のコレクションが充実しており、現在も第一線で活躍する職人による精緻な織りのバスケットを購入することができます。

コネチカット州：マシャンタケット・ピクォート居留地で行われる夏の収穫祭Schemitzunで踊る踊り子。

写真：AP PHOTO/JESSICA HILL (上)、TARA RICE (右)、ISTOCK.COM/TRAVELVIEW (前ページ)

メイン州：12,000年以上のネイティブアメリカンの文化と歴史を伝えるコレクションを誇るアッベ博物館（バーハーバー）のドラマチックな館内。

ロードアイランド州：プロビデンスの「リトル・イタリー」地区にあたるフェデラルヒルでは、夏になると多くの人々がその独特の雰囲気に浸ります。

人々と文化

世界の文化

移民が一つの文化に同化する「メルティング・ポット（人種のるつぼ）」というアメリカの古い概念はもはや崩れ去っています。今日のニューイングランドでは、より大きなコミュニティの中に異なる背景を持つ人々が集まっているように、文化の多様性が尊重され、讃えられています。このコンパクトな地域には、味わうべきさまざまな料理や一見の価値のあるエスニックな街並み、参加せずにはいられない文化的なイベントなどがあり、住む人にとっても訪れる人にとっても魅力満載の土地です。

マサチューセッツ州の州都ボストンに最初に上陸した中国系移民は主に男性の労働者でしたが、現在では、新しい人々と何世代にもわたるアジア系アメリカ人の家族が混在して暮らしています。2021年から就任したMichelle Wuは、ボストン初のアジア系アメリカ人市長です。ボストンのチャイナタウンは、その起源を1870年代に遡る、アメリカで最も古いタウンの一つで訪れる価値あり！本格的なレストランで食事を楽しんだり、毎年恒例の旧正月パレード（旧正月は毎年1月か2月）では、獅子舞やその他のパフォーマーの華麗な演技に圧倒されることでしょう。

ロードアイランド州で最も刺激的な地域の一つであるプロビデンスのフェデラルヒルは、長い間、この市のイタリア人コミュニティの中心地でした。デパスクエール・スクエアには花や噴水、ヨーロッパ風の屋外カフェがあり、「リトル・イタリー」の心を打つ中心地となっています。Venda Ravioliでパスタ作りを見学し、Scialo Brothers Bakeryで100年前のレンガのオーブンで焼いた伝統的なパンなどを味わい、巨大な壁画を背景に写真を撮り、イタリアン・マーケットで買い物し、Pastiche Fine Dessertsでエスプレッソとイタリアのペストリーをつまむのがお勧めです！

詳細はこちら：DISCOVERNEWENGLAND.ORG/WORLD-CULTURES

写真: © DAVID DELPOIO/USA TODAY NETWORK

黒人の歴史

ニューイングランドの学習センターやランドマークで語られるアフリカ系アメリカ人の体験談はとても奥が深く引き込まれること間違いなし！悲劇的な物語もあれば、勝利と英雄の物語もあります：例えば、かの有名な**アミスタッド号**事件は、大作映画にもなったほど衝撃的なストーリーです。新しい展示は、長い間語られることのなかった物語を絶えず提示し、家族、コミュニティ、文化といった普遍的なテーマや、ニューイングランド地方の黒人の過去と現在の貢献について、私たちに語りかけてきます。

ニューハンプシャー州ポーツマスのアフリカン・ベリング・グラウンド記念公園を訪れれば、高名な彫刻家Jerome Meadowsの作品を見ることができます。彼は、等身大の男女が板を挟んで反対側から互いに向かって手を伸ばす像を創作しました。かつて捕虜としてこの港町にやってきたアフリカ人たちの絆と回復力を象徴するような、感動的なアート作品です。この記念公園を出発点に、ポーツマスのブラック・ヘリテージ・トレイルに沿ってさらに23箇所を巡るセルフガイドツアーか、ニューハンプシャー州のブラック・ヘリテージ・トレイルが開催するポーツマスとその周辺を巡るガイドツアーに申し込むのがオススメです。

奴隷制度が廃止される前、ニューイングランドは地下鉄道の多くの停車駅があった場所で、その中でも最も保存状態の良い駅が**バーモント州で**発見されました。フェリスバーグのロケビー博物館では、マルチメディアの展示を通して、クエーカー教徒の農場で安全な避難所と働き口を見つけた地下鉄道の二人の「乗客」、サイモンとジェシーを紹介しています。敷地内を見学すると、奴隷から逃れた人々がどのように新しいコミュニティの一員となったかについて、さらに詳しく知ることができます。

詳細はこちら：DISCOVERNEW ENGLAND.ORG/BLACK-HISTORY

▲ バーモント州：フェリスバーグのロケビー博物館の常設展示「Free & Safe: The Underground Railroad in Vermont（自由と安全：バーモントの地下鉄道）」では、奴隷から逃れた2人の物語が再現されています。

▼ ニューハンプシャー州：この心に迫る彫刻は、ニューイングランドで唯一のアフリカ人埋葬地の跡地にあるポーツマスのアフリカ人埋葬地記念公園の入り口の目印となっています。

写真: KELLY BURGESS（上）、DEBBIE ECKERT/ALAMY STOCK PHOTO（下）

未踏の
息を呑むほど
Ma
VISITMAI

の西部、
ど美しい北部

ine

NE.COM

The Forks

過去と現在

アメリカで最も歴史ある地域であるニューイングランドは、同時に最も革新的な街でもあります。この地でアメリカの産業革命が起こり、環境保護主義が生まれました。ニューイングランドは、缶切りや電子レンジなどのガジェット、アサリのフライやロブスターロールなどの食文化の発展、電話やFacebookなど、この世界を小さく感じさせる画期的な技術を私たちにもたらしました。

ニューイングランドでは、現在の世界と過去の精神がさまざまな形で交錯しています。生きた歴史博物館は、何世紀も前の人々がどのように日常生活を送っていたのか伝え教え、現代の訪問者にとって忘れがたい体験となるでしょう。華麗に復元されたパフォーマンスホールでは、最先端のショーと愛されてきた古典的なショーを体験することができます。コーヒー牛乳や蒸したチーズバーガーなど、何世代にもわたって作られてきたニューイングランドの郷土料理を注文して、文字通り歴史を味わうこともできます。

確かに歴史はニューイングランドに欠かせない要素ですが、それは常に現代の魅力に結びついています。鍛冶屋が伝統的な技術を披露するのを見たり、今もなお私たちの心に響く言葉を残している作家の旧家を散策したり、8代続く農家が作ったメープルシロップをかけたパンケーキを食べたりと、シンプルかつ味わい深い方法で時空を超えたタイムスリップするような旅をしてみませんか？

コネチカット州：ミスティック・シーポート博物館を訪れると、1882年製の大型帆船ジョセフ・コンラッドなどの浮体展示だけでなく、造船や鍛冶など当時の職人による実演もあり、帆船の時代にタイムスリップしたような気分になることでしょう。(27ページの「生き続ける歴史」を参照)

メイン州：元々メイン州の先住民が釣りのエサや肥料として使っていたロブスターは、今日では珍味として扱われ、多くの旅行者がメイン州を訪れる際の目玉の食材となっています。

過去と現在

伝統的な食事

ニューイングランドの伝統的な料理の多くは、植民地時代にヨーロッパから移住してきた人々の食に対する感覚と、先住民から学んだ陸と海の幸の調理法とが融合して生まれたものです。ニューイングランドの各州を旅すれば、歴史を“味わう”機会がたくさんあるはずです。

メープルシロップは、アメリカ先住民が初めて作った歴とした先住民食で、春を前にした最後の満月を祝う「シュガームーン」という行事で収穫を祝いました。最近では、ニューイングランドの各州で、家族経営の小規模な製糖所がメープルシロップを生産しており、中でも**バーモント州**は、この地域だけでなく全米で最大の生産量を誇っています。とても面白いことに、メープルシロップは地域による違いよりも、グレードによる違いの方が大きいのです：ゴールデン、アンバー、ダーク、ベリーダークと、シロップの色が濃いほど、メープルの風味が強くなります。ただし、スーパーで売られている人工的な「パンケーキシロップ」と混同しないようにしてください。ニューイングランド自慢の朝食スポットでは、“ホンモノ”以外提供することはありえませんね。

ロブスターもまた、この地域の長年の定番料理であり、**メイン州**は紛れもない王者です： 年間約1億ポンド(4.5万トン)の漁獲高を誇るメーン州のロブスター産業は、全米でも断トツの規模を誇っています。メイン州の海岸線には、多くの漁船が行き交い、また、サウストマストンにあるカジュアルな海辺の小屋McLoonsから、ポートランドのダウンタウンにある全米でも有名なレストランEventide Oyster Co.まで、一流のシーフードレストランが軒を連ねています。

詳細はこちら：DISCOVERNEWENGLAND.ORG/HERITAGE-FOODS

バーモント州：メープルシロップの生産量が全米一のバーモント州では何世紀も前から続く伝統的な製法を守り続けている。

地元の豆知識

ニューイングランドの作家の足跡を辿って

KIM KNOX BECKIUS
Yankeeのトラベルエディターで
New England's Historic Homes & Gardens
の著者

「文学界の多くの巨匠が、その生涯、あるいは人生の一部をニューイングランドで過ごし、彼らの家を保存する団体は、彼らの言葉を今日に伝えるために素晴らしい仕事をしています。もし私が、作家の遺志が色濃く残る場所を各州一ヶ所ずつあなたに案内できるとしたら、まず私の故郷であるコネチカット州ハートフォードで、**マーク・トウェイン邸**を訪ねます。そこはトム・ソーヤーの冒険やハックルベリー・フィンの冒険など、不朽の名作が生まれた場所です。そして**ストウ・センター**は、アンクル・トムの小屋の著者で、奴隷制廃止論者のハリエット・ビーチャー・ストウの家です。

「ロードアイランド州プロビデンスに立ち寄り、SF作家H.P.ラブクラフトゆかりの家や隠れ家を探して**カレッジヒル**を歩いて回りましょう。マサチューセッツ州コンコードでは、**ラルフ・ワルド・エマーソンの旧邸**や、**ウォールデン池**、そして最後に**スリーピー・ホロー墓地**を訪れ、エマーソン、ソロー、ホーソーンそれぞれの墓に鉛筆を置いて帰るファンもたくさんいます。*若草物語*の作者、ルイーザ・メイ・オルコットの**オーチャード・ハウス**も見学することになるでしょう。

「メイン州初の歴史的な邸宅博物館であるポートランドの**ワズワース・ロングフェローハウス**は、若き日のヘンリー・ワズワース・ロングフェローが、「ポール・リビアの騎行」などの詩の中で語り継ぐことになる初期のアメリカの物語に浸った場所です。ニューイングランドの愛すべき詩人といえば、ニューハンプシャー州デリーにある**ロバート・フロスト・ファーム**を訪れ、フロストの有名な詩に出てくる「メンディング・ウォール」を見るのがお約束。

「そして、もし前もって計画してバーモント州ダマーストンにある**ナウラカ**での滞在を予約していれば、ラドヤード・キップリングがジャングル・ブックを執筆した1892年の旧家をオススメしたいですね。彼が実際に使った机の上でぜひ絵葉書を書いてみてください。」

写真：MARK FLEMING (左)、VERMONT MAPLE SUGAR MAKERS ASSOCIATION (右)、STAN TESS/ALAMY STOCK PHOTO (前ページ)。

▲ **マサチューセッツ州：** 70年近く前に創立されたウィリアムズタウン・シアター・フェスティバルは、ブラッドリー・クーパーやユマ・サーマンといった一流俳優を定期的に集めて興行しています。

▼ **ニューハンプシャー州：** ラコニアにあるコロニアル・シアターでは華麗な装飾が施され、まるで別の時代にいるかのような雰囲気があります。

過去と現在

時代を超えるステージ

数世代にもわたって観客を迎えてきた劇場で、現代の才能あるアーティストが演じる姿は、まさに魔法にかかったかのようです。時代を超越するニューイングランドのステージは、ボストンのシアターディストリクトだけでなくさまざまな場所にあり、休暇で訪れる人々やブロードウェイ俳優を魅了しています。滞在中に運良くショーが見られるタイミングがあれば、あなたのバケーションのドラマチックなハイライトになるかもしれません。

サマー・ストック・シアターはニューイングランド発祥の地とまではいきませんが、この地域の代名詞のような存在になっています。特に、**マサチューセッツ州**のケープ・プレイハウスは、米国で最も長い歴史を持つプロフェッショナルなサマーシアターです。1927年にデニスに設立されたこのプレイハウスは、ブロードウェイの俳優たちに夏の閑散期に活動できる場所を提供し、ベット・デイヴィスやヘンリー・フォンダといったスターたちが熱心にそのオファーを受けました。マサチューセッツ州のバークシャーでは、新古典主義の荘厳なウィリアムズ大学のアダムス・メモリアル・シアターで、1955年から世界的に有名なウィリアムズタウン・シアター・フェスティバルが開催されており、演劇の伝統を感じることができます。*マディソン郡の橋*や*エレファント・マン*など、このフェスティバルで初演されたいくつもの演目が、後にブロードウェイで高い評価を受けるようになりました。

演劇ファンがくつろいで過ごす**ニューハンプシャー州**の湖水地方は、1世紀以上もの歴史があります。1914年にオープンしたベネチアをテーマにしたラコニアのコロニアル・シアターは、映画館に改築される前はライブパフォーマンスを行っていました。20年近く閉鎖されていましたが、丹念に修復され2021年に再オープンし、受け継いできたものに忠実に、現在は演劇、コメディ、映画などを開催しています。少し北のタムワースでは、1931年にグローバー・クリーブランド大統領の末っ子が共同設立したThe Barnstormersが、今でも毎年夏にプロの一座を組んでいます。1935年以来、この一座の”ホーム”であった旧メインストリートの劇場で、アメリカ全土から集まった一流のアーティストの心温まる演劇やミュージカルを鑑賞し、300席足らずの劇場ならではの一体感を味わってみてはいかがでしょうか？

詳細はこちら：DISCOVERNEWENGLAND.ORG/TIMELESS-STAGES

写真：DANIEL RADER（上）; MATT LAMBROS（上）

過去と現在

生き続ける歴史

ロードアイランド州：ブリストルのコッゲスホール・ファーム・ミュージアムでは、18世紀の小作人の生活を垣間見ることができ、彼らが世話をしたであろう家畜にも会うことができます。

過去を蘇らせることは、優れた歴史博物館の使命ですが、ニューイングランドで最も愛されているアトラクションは、往時の世界に浸ることができるのが魅力です。当時の服装をした解説員と交流し、伝統工芸を体験し、伝統的な農作物を間近に見て、ニューイングランドの初期の入植地、海に面した村、働く農場、建築的に豊かな町々での生活を体験することができます。

アメリカの初期の農民は小作農ではなかったですが、一般に信じられているような逞ましく独立した農業を営んではいませんでした。小作人として働いていた人々は、自分の所有でない土地で作物を育てるためにお金を払わなければならず、警告なしに立ち退きを迫られることもしばしばありました。**ロードアイランド州**のコッゲスホール・ファーム・ミュージアムは、ブリストルの塩田地帯にあった小作農の跡地に建てられ、まさしく生きた歴史の博物館です。 ここでは農民たちが苦しい状況で生計を立てていた様子が垣間見れます.18世紀に造られた畑や復元された農家には、コスチュームを着た解説員がいて、昔の工芸作りに参加することができます。さらに、昔ながらの繁殖技術で育った豚や羊と触れ合うことができ、子供たちは大喜びすることでしょう。

コネチカット州 のミスティック・シーポート・ミュージアムに訪れた人は、19世紀のニューイングランドの典型的な海辺の村を再現した通りを散策し、途中、保存された造船所に立ち寄り大工がアンティークボートを修復する様子を見学したり、かつてここで造船業を担っていたに鍛冶屋などの職業について学んだり、現存する世界最後の木造捕鯨船***チャールズ・W・モーガン号*** などの歴史ある船に乗り込んだりと、見どころ、遊びどころが満載です。石炭を燃料とする蒸気船***サビーノ号***をはじめとする博物館のツアーボートでは、シーポートビレッジ全体を水上から見ることができ、水辺のSpouter Tavernでは***モビィ・ディック***にちなんだノスタルジックな雰囲気と共に、地ビール、そしてもちろんニューイングランドのクラムチャウダーを楽しむことができます。

詳細はこちら：DISCOVERNEWENGLAND.ORG/LIVING-HISTORY

写真: © THE PROVIDENCE JOURNAL/USA TODAY NETWORK

想像を超える期待以上のバケーション

新しい出会いを見つけよう

New Hampshire
LIVE FREE

家族で楽しむ

月日が経つのはあっという間です。子どもたちの成長はとてもはやいものです。そして、振り返ってみると、遠く離れた場所で一緒に過ごした時間が、心に残ることが多いものです。

ニューイングランドは、幼児やティーンエイジャー、成人した子供や祖父母と一緒に旅行している場合でも、家族で共有した体験のハイライト映像に、素晴らしい彩を添えてくれる場所です。遊覧船や海辺の散歩、子供が喜ぶ昔ながらの遊園地など、素朴な楽しみが四季折々に味わえる地域です。

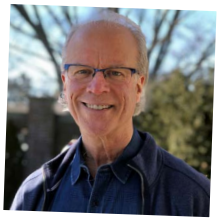
ニューイングランドの家族向けリゾートには、多世代を歓迎する長い歴史があります。あらゆる年齢層が楽しめる、テクノロジーに頼らない「アンプラグド」なレクリエーション活動を提供すると同時に、休日や特別な日にしかできない家族団欒でリラックスできるのが魅力的です。チェックアウトする前に翌年の再来訪を予約するゲストが多いのもうなずけます。お子さんが、大人になり将来自分の子どもを連れて再び訪れ、新しい伝統を受け継いでいく姿をあなたは想像できるのではないでしょうか。

さぁ家族で集まり、このガイドブックをめくりながら、誰もが楽しめ、家族の絆をより深めることが出来るニューイングランドでの*魅力的な休暇プラン*を立ててみてはいかがでしょうか？

バーモント州：アメリカ・カナダ国境にまたがる美しい氷河湖メンフレマゴグ湖のノーザン・スター・クルーズのツアーでは、子どもたちは水面を滑るような感覚にワクワクし、年配の方は景色の中でおいしい一杯を楽しむことができます。(34ページの「オールエイジ・クルーズ」を参照)

地元の豆知識

昔ながらの遊園地を巡る



ARTHUR LEVINE
マサチューセッツ州在住のテーマパーク・旅行ジャーナリスト。ブログ「Arthur's About Theme Parks」(aboutthemeparks.fun) 著者。

「1902年にオープンしたニューハンプシャー州セイラムの**キャノビー・レイク・パーク**では、タイムスリップしたかのような感覚を味わうことができます。1936 年には、その素晴らしい“ウッディー”(木製ローラーコースター)ことヤンキー・キャノンボール(Yankee Cannonball)が初めてコースター ファンを熱狂させました。ニューハンプシャーのホワイト山地には、小さなお子様連れ家族向けのミッドセンチュリーな雰囲気が漂う楽しいパークが2つあります。ジェファーソンには愛情を込めて保存されている**サンタズビレッジ(Santa's Village)**、グレンでは古典的な童謡や寓話に敬意を表した**ストーリーランド(Story Land)**がおすすめです。」

「マサチューセッツ州では、アガワムの**シックス・フラッグス・ニューイングランド(Six Flags New England)**に足を運んでみてください。スーパーマン・ザ・ライド(Superman The Ride)やウィキッド・サイクロン(Wicked Cyclone)など、現代的なコースターのスリルを味わえる一方で、1940年代頃の木製コースター、サンダーボルトに乗れば、その(1870年にさかのぼる)歴史のルーツを体験することができます。セーラムの**セーラム・ウィローズ(Salem Willows)**もお忘れなく。遊園地と呼ぶには小さすぎるこのビンテージスポットには、おそらく世界一のポップコーン(20世紀初頭のガス燃焼式ポッパーで製造)と、魅力的なメリーゴーランドがあります。

「コネチカット州には2つの昔ながらの遊園地があります。1846年にオープンしたブリストルの**レイク・コンパウンス(Lake Compounce)**は、継続して営業している遊園地としては全米で最も古いものです。そして、ミドルベリーの**クアッシー(Quassy)**は、現存する数少ない「トロリーパーク」の1つです。この2つの湖畔の遊園地には、どちらもトップランクの、昔ながらの木製コースターがあります。

メイン州サコにある、**ファントム・スプラッシュタウン・U.S.A.(Funtown Splashtown U.S.A.)**の歴史は1967年に遡り、木製コースター「エクスカリバー(Excalibur)」が目玉となっています。また、アメリカ最小の州であるロードアイランド州には、現在遊園地はありませんが、ウォッチヒルでは、アメリカ最古のメリーゴーランドの1つである**フライングホース(Flying Horses)**に子供たちが乗って楽しめます。」

マサチューセッツ州: マーサズ・ヴィンヤード(Martha's Vineyard)にあるウィネツ・オーシャンサイド・リゾート(Winnetu Oceanside Resort)では、プールやテニスをしたり、実物大のチェスセットで遊んだりと楽しみが尽きません。

家族で楽しむ

ステイ&プレイ

ニューイングランドのリゾートを第二の我が家として選べば、大家族での旅行計画がこれ以上ないほど簡単になります。この地域のトップクラスのリゾートでは、大小さまざまなグループに対応し、あらゆる年齢層向けのアクティビティや、さまざまなニーズと予算に合わせた宿泊オプションが豊富に取り揃えられています。そして何より、親切なスタッフと豊富なアメニティを備えた広大な施設に滞在すれば、遊んだり、食事をしたり、お互いの新しい発見をする機会が無限に広がります。

ニューイングランドで最も大規模な家族向けのビーチリゾートは、**マサチューセッツ州**、ケープ・アンド・アイランド地区にあります。例えば、マーサズ・ヴィニヤード(Martha's Vineyard)では、ウィネツ・オーシャンサイド・リゾート(Winnetu Oceanside Resort)が季節ごとに人気を博しており、監督付きのプログラムで子供たちを一日中退屈させる事なく遊ばせ、ご両親と祖父母はスパトリートメントや テニスの試合、エドガータウンへの水上タクシーで買い物に出かけたりと大人向けのアクティビティーでゆったりと楽しむことができます。とりわけ、ニューイングランドの伝統的なクランベイク(アサリを使った伝統料理)は、家族全員にとって忘れられない思い出の味となるでしょう。

また、あなたはスキーを楽しみ、お子さんはスノーボードがお気に入り(あるいは習いたいと思っている)かもしれません。しかし、ゲレンデにいる間、スキーをしない人たちはどのように楽しめば良いのでしょう?**ニューハンプシャー州**の大規模なスキーリゾートに滞在すれば、誰もが楽しめるアクティビティが盛りだくさんです。州最大のスキー場ブレトンウッズでは、ダウンヒルスキーが苦手な方はノルディックスキーやスノーシューを楽しんだり、スノーチュービングなどの運動量が少ないアクティビティに参加することもできます。ブレトンウッズの南、リンカーンのルーンマウンテンリゾート(Loon Mountain Resort)でも、同様に多様なレクリエーションと宿泊施設が揃っています。さらに、ルーンとブレトンウッズの両方にあるニューイングランド障害者スポーツ(New England Disabled Sports)では、身体的及び認知的障害のあるお子様方とそのご両親のためのレッスンを提供しており、冬の楽しみをより身近なものにしています。

詳細はこちら:DISCOVERNEWENGLAND.ORG/STAY-AND-PLAY

写真: ROSEMARY TUFANKJIAN (上)、LOON MOUNTAIN RESORT (右)、RICK DESROCHERS (前ページ)

ニューハンプシャー州：ブレトンウッズでは、グループレッスンと個人レッスンを行っており、初心者の方でも安心してスキーを楽しむことができます。

家族で楽しむ

オールエイジ・クルーズ

ニューイングランドの歴史、特色、ライフスタイルの多くは、ボートと結びついています。岸を離れると、この地域の最も魅力的な体験があなたを待っています。ニューイングランドの各州には、あらゆる年齢層の旅行者に最適な、穏やかな船旅が存在します。中には、帆を揚げるのを手伝ったり、食事作りに参加したりと、乗客参加型のクルーズもあります。しかし、どのクルーズでも、双眼鏡やワイングラスを片手にゆったりとくつろぎながら、素晴らしい景色と陸上生活からの解放感を味わうことができるのです。

コネチカット州の最も象徴的な川船、ベッキー・サッチャー号は、19世紀半ばにマーク・トウェインがミシシッピ川で操縦していた蒸気船を模して造られました。エセックス蒸気機関車&リバーボート（Essex Steam Train & Riverboat）では、ご家族で歴史を感じさせる列車に乗り込み、エセックスからディープリバーまでのレールの旅を楽しみ、そこでベッキー・サッチャー号に乗り込んで、再度ノスタルジックな空間を堪能できます。ぜひ3つあるデッキのうちの手すり側の席を選んで下さい！ジレット城などのアトラクションを眺めながら寛げます。夏の終わりから秋の初めにかけての夜には、ツバメのドラマチックなダンスを見ることができ、秋の深まりとともにこのクルーズはご家族にとって最も思い出深い紅葉狩りの旅となるでしょう。

ヴァーモント州の人里離れたノースイースト・キングダム（Northeast Kingdom）では、ニューイングランドで唯一の国際的な湖上クルーズで、ゆったりとくつろぐことができます。ノーザンスタークルーズ（Northern Star Cruises）が提供するメンフレマゴグ湖の2時間の遊覧船は、赤道と北極の中間に位置する45度線と、米国とカナダの国境を越えるというダブルのスリルを味え魅力的！そして移動のためではなく、観光目的でフェリーを利用したことがある方は、バーリントンからニューヨークのポートケントへ渡るシャンプレーン湖フェリー（Lake Champlain Ferries）を気に入ることでしょう。ニューイングランド最大の湖に家族全員で出かける際、手頃なお値段で乗船出来るこのフェリーはうってつけです。

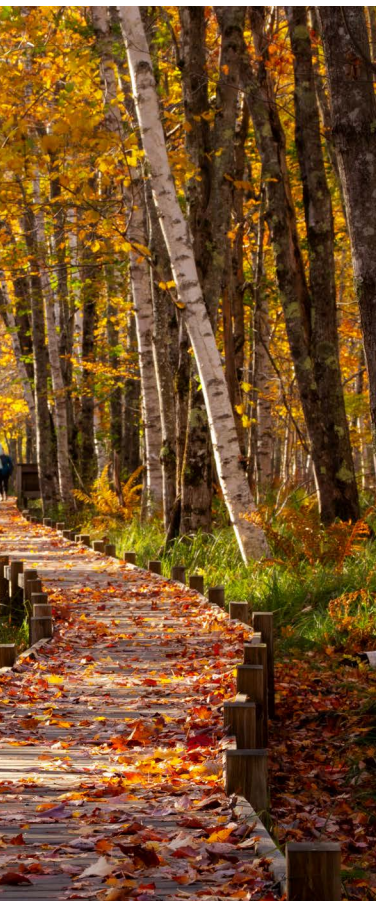
詳細はこちら：DISCOVERNEWENGLAND.ORG/CRUISING-NEW-ENGLAND

ロードアイランド州
ニューイングランドで最も有名な海の散歩道、ニューポートのクリフウォークでは、最小限の努力で最高の景色を楽しむことができます。

メイン州：ジェサップ・パス（Jesup Path）では、簡単なボードウォークのトレイルが、アカディア国立公園（Acadia National Park）の自然の素晴らしさへと導いてくれます。

写真：ERIN MCGINN(ディスカバー・ニューポートより)（左）、BENJAMIN WILLIAMSON, COURTESY OF *DOWN EAST* 提供（右）

コネチカット州：
コネティカット川を代表するアトラクション、ベッキー・サッチャー号で蒸気船の時代にタイムスリップしたようなクルーズをお楽しみください。



家族で楽しむ

絶景の散歩

家族で散歩に出かけると、一歩一歩、新鮮な空気を吸いながら、家族の絆がより深まります。野生動物の鳴き声やその姿、植物界の神秘、美しい風景など、自然のさまざまな魅力を発見することができるのです。また、地形が緩やかで、どんな年齢の方でも無理なく歩けるペースであれば、激しいハイキングでは見過ごしてしまうような小さな発見もいっぱいあることでしょう。ニューイングランドで最も人気があり絶景を拝める散歩道は、何世代にも渡って歩かれてきた歴史のある道です。

ロードアイランド州のクリフウォークは、ニューポートで有名な黄金時代の邸宅の裏庭を横切る、3.5マイル（5.6km）の海岸沿いの小道です。ファーストビーチの近くから始まるクリフウォークの最初の2マイル(3.2km)は、体力に自信がない人でも簡単に歩けます。南側のルートは、時々滑りやすい岩をよじ登らなければならないので、冒険好きな人にはより魅力的なコースかもしれません。クリフウォークの短い区間でも、20世紀初頭のアメリカの裕福な人々が愛したのと同じ素晴らしい海の景色を堪能することができます。

メイン州の広大なアカディア国立公園（Acadia National Park）には、歴史的な馬車道が縦横に走っており、ウォーキングやサイクリング、馬車に乗ったりと、さまざまな楽しみ方ができます。森の中を探検したい人には、ジェサップパス（Jesup Path）とヘムロックパスループ（Hemlock Path Loop）の2つのほぼ平坦なトレイルがオススメ！白樺やヘムロックの美しい林を抜け、ドール山の美しい風景を眺めながら歩くひと時は格別です。また、板張りの遊歩道と広い砂利道は家族連れに最適で、車椅子でのアクセスも可能です。

詳細はこちら：DISCOVERNEWENGLAND.ORG/SCENIC-STROLLS

写真: SUSAN COLE KELLY (上)

今すぐ計画を立てよう！詳しくはバーモント州公式サイト（VERMONTVACATION.COM）をチェック！　他に類をみないユニークな場所

© VERMONT DEPARTMENT OF TOURISM & MARKETING

エコ・トラベル

ニューイングランドは米国で最も森林が密集している地域ですが、この地域を「グリーン」にしているのは、そのような木々だけではありません。世界初の風力発電所は1980年にここ、ニューハンプシャー州に設立されました。マサチューセッツ州では、最も古くから（1948年）太陽光発電による住宅が存在し、北米初の洋上風力発電所はロードアイランド州の沖合に2016年に建設されました。最近では、全米の州のリサイクル率ランキングで、ニューイングランドは上位5州のうちなんと4つを占めました。

環境に配慮したホテルといえば、コネチカット州にあるホテル・マルセル（Hotel Marcel）が有名です。9階建てで165の客室を誇るこのホテルは、化石燃料を一切使用しない国内初のネット・ゼロ・ホテルです。この地域には、すでにサステイナブルな建築手法やエネルギー効率で知られるホテルが存在しており（実際、州の観光サイトには「グリーンホテル」のリストがしばしば掲載されている）、その先駆けとなるものです。

自転車やカヤックで自力走行するツアーに参加したり、ファームディナーやファームステイで地元の農業を堪能したり、在来の野生動物を間近に見て、その種や生息地の保護方法を学んだりと、地球環境に配慮した旅行者がニューイングランドで宿泊先を選ぶ際にも、夢中になれるようなエコトラベルのアクティビティを豊富に取り揃えています。

ニューイングランドには、大小さまざまな都市で環境に対する革新的な意識と精神が根付いており、小さな足跡を残しながらこれらの地を訪れたい旅行者にとって、もちろん生涯忘れられない旅となるでしょう。

メイン州：メイン州西部にあるメイン・ハット＆トレイル・システム（Maine Huts & Trails system）では、バイカーやハイカーがオフグリッドでシェルターを転々としながら、奥深い森を体験することができます。（41ページの「緑に包まれる体験」を参照）。

環境に配慮したホテル

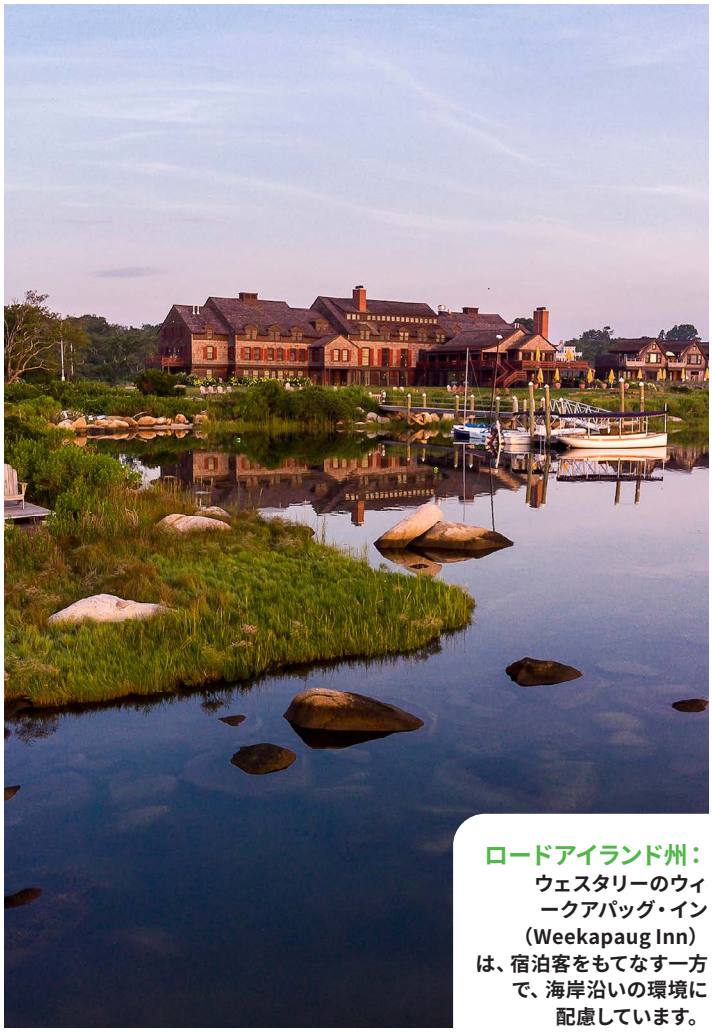
ニューイングランドには、LEED認証や廃棄物を抑えた運営、地球に優しい創造的な取り組みを行っているホテルが数多くあり、環境意識の高いお客様にとってはうってつけの旅先と言えるでしょう。つまり、ニューイングランドの環境に配慮したホテルは、一夜の宿を探す際に、あなたの良心にも安らぎを与えてくれるのです。

コネチカット州では、世界最高峰の大学のひとつであるイェール大学を抱える都市で、サステイナブルなおもてなしのマスタークラスも展開しています。2022年にオープンしたニューヘイブンのホテル・マルセル（Hotel Marcel）は、全米初のネット・ゼロ・ホテルです。1967年にマルセル・ブロイヤーが設計したブルータリズム様式のランドマーク的な建物で165の客室を完備するこのホテルは、1,000枚のソーラーパネルの配列で完全に維持されています。再利用された建材が随所に使われ、新たに追加された三重ガラス窓や、温度・空気環境のコントロール機能により、このヴィンテージの建物は極めて高いエネルギー効率を実現しています。レストランでは、地元の食材を使った料理とバイオダイナミックワインやオーガニックワインを提供し、12台のテスラ・スーパーチャージャーとレベル2のEV充電器を備えており、お客様の電気自動車に電力を供給する準備が整っています。

ロードアイランド州南西部の海岸線、ウェスタリーの町にあるウィークアパッグ・イン（Weekapaug Inn）は、贅沢さとサステナビリティを見事に調和させたホテルです。このルレ・エ・シャトー（Relais & Châteaux）では、近隣のクオノチョンタグ池（Quonochontaug Pond）を保護するために、自生植物による緩衝材や浸食防止のための石垣を設置し、リゾートの最新鋭の地熱暖房・冷房システムは、繊細な沿岸環境への影響を避けるために閉ループで稼働しているのだそうです。ダイニングに関する取り組みも注目ポイント！敷地内のキッチンまで155マイル（250 km）以上の距離を移動する食品は一切なく、残飯はすべて堆肥化され、この地域の農場の土壌に再利用されています。

詳細はこちら：DISCOVERNEWENGLAND.ORG/ECO-FRIENDLY-HOTELS

コネチカット州：ニューヘイブンの新しいホテル・マルセルは、ミッドセンチュリーモダンのセンスにあふれたグリーンな宿泊施設です。



ロードアイランド州：ウェスタリーのウィークアパッグ・イン（Weekapaug Inn）は、宿泊客をもてなす一方で、海岸沿いの環境に配慮しています。

写真：SEAMUS PAYNE（左）；ウィークアパッグ・イン（WEEKAPAUG INN）（右）；メインハット&トレイル（MAINE HUTS & TRAILS）（前ページ）

バーモント州：ウッドストック・イン&リゾート（Woodstock Inn & Resort）は、オーガニック農場で採れた旬の食材をふんだんに使ったメニューを提供し、地元の味にこだわっています。

エコ・トラベル

緑に包まれる体験

癒しや娯楽を求めて旅する観光客にとっても、ニューイングランドでのバケーションは、この自然豊かな地域への影響を最小限に抑えつつ、存分に満喫できるチャンスが数多くあります。ローカルクラフトのアート作品やギフトを購入したり、地元で生産・製造された食べ物や飲み物を味わうのは旅の醍醐味ですよね。ヨットのクルーズで風の力を感じる。山の中をハイキングしながら自然が作り出した障害物コースに挑戦する。少し計画を練るだけで、ニューイングランドやその自然豊かな環境と自分自身を繋ぐ、価値があり一生忘れられない様な至福のひと時を味わうことができます。

さぁ車から降りてウォーキングやサイクリングで広大な土地を旅しませんか？例えば、**メーン州**西部では、ヨーロッパの「山小屋ハイキング」のコンセプトをニューイングランドの奥地にアレンジしたアウトドアファンにはうってつけの施設があります。メインハット&トレイルは、80マイル（129km）のトレイルシステム沿いにある4つのオフザグリッドのエコロッジで、ハイキングやツーリング、またはスキーやスノーシューイングを楽しむ人々が通過する際に、素朴な宿泊施設を提供しています。（そしてもちろん、ニューハンプシャー州のホワイト山地にあるアパラチアン・マウンテン・クラブ（Appalachian Mountain Club）の「ハイ・ハット（高台の小屋）」は、米国で最も古く、最もよく親しまれた山小屋システムです。）

アグリツーリズムは、グリーン・トラベルのもう一つの重要な要素であり、ニューイングランド各地の農場が、教育や食事の場を提供し、さらには旅行者の受け入れのためにその扉を開いています。農場ツアーや宿泊施設はこの地域に数多くありますが、最も純粋に「地元を食べる」体験ができるのは農場併設のファームレストランかもしれません。**バーモント州**のウッドストック・イン&リゾート（Woodstock Inn & Resort）は、その代表例です。同ホテルのオーガニック農場、ケリー・ウェイ・ガーデンズ（Kelly Way Gardens）で収穫された食材は、リゾートの宿泊客に振る舞われるだけでなく、農場で開催される予約制の特別ディナーでも堪能できます。レッド・バーン・ディナーシリーズ（Red Barn Dinner Series）と呼ばれるこのイベントは、地元のチーズメーカー、農家、養蜂家、酪農家の貢献を称え、真のファーム・トゥ・フォーク（農家直送）を体感することができます。

詳細はこちら：DISCOVERNEWENGLAND.ORG/GREEN-EXPERIENCES

写真：ウッドストック・イン&リゾート（WOODSTOCK INN & RESORT）

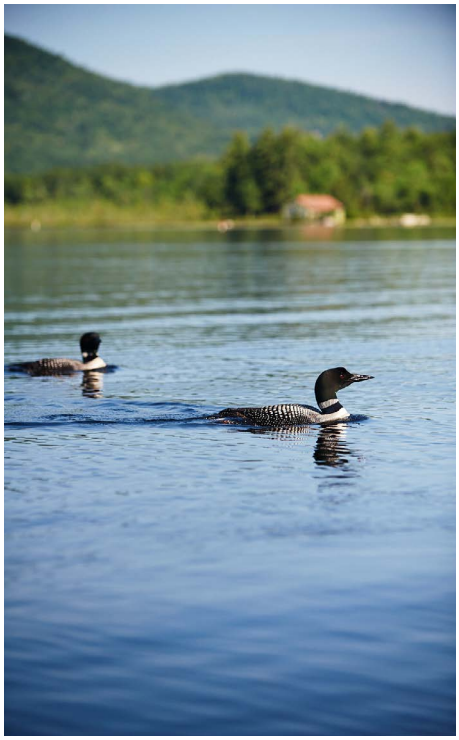
マサチューセッツ州：ステルワーゲン・バンク国立海洋保護区（Stellwagen Bank National Marine Sanctuary）のザトウクジラがツアーボートの目の前で跳躍し、海面を突破する雄大な美しさを披露している。

野生動物との出会い

ニューイングランドの野生動物を探索する方法は、ツキノワグマ、ワシ、クジラ、ホオジロザメなど、この地域に生息する在来種と同じくらい豊かで多岐に渡ります。ネイチャーセンター、野生生物保護区、ガイドツアーはすべて、これらの動物を身近に感じさせると同時に、動物やその生息地の保護・保全のための教育活動も熱心に取り組んでいます。そして最大の魅力とは？どのような旅行プランを選んでも、必ず何か特別な出会いがあり、帰国後もずっと心に残るような学びがあります。そんな経験て素敵ですよね!

マサチューセッツ州は、なんと世界のホエールウォッチングスポットのトップ10にランクインしています。ボストンからわずか25海里のところにあるステルワーゲン・バンク国立海洋保護区（Stellwagen Bank National Marine Sanctuary）は、842平方マイル（2,180km²）の保護区で、さまざまな海洋生物が生息しています。特にザトウクジラ、パイロット、シロナガスクジラが春から秋にかけてこの地で生活し、エサをとる姿は圧巻です！ノースショアからケープコッドまで、州の沿岸では至る所でホエールウォッチングツアーが行われているので、この壮大な動物を割と容易に見に行くことができます。

マサチューセッツの海には、もう一種の有名な深海生物、ホオジロザメも季節ごとにやってきます。ケープコッドのアトランティック・ホワイト・シャーク・コンサーバンシー（AWSC）は、チャタムとプロビンスタウンに2つの教育センターを運営しており、サメの研究、保護、自然史について学べるような展示がされています。またAWSCは、ホホジロザメを自然環境で観察するプライベートな水上ツアーも開催しています。このツアーでは、AWSCの先進的な活動を間近で見ることができるほか、重要な研究に貢献できる素晴らしい機会も得られます。



ニューハンプシャー州：1970年代には100羽に満たなかったアビの数が、保護活動によって現在は3倍以上に増えています。

耳に残るアビの鳴き声はニューイングランド地方の夏の風物詩であり、**ニューハンプシャー州**の湖水地方では、この人目を引く白や黒の水鳥がこの地域独自のアイデンティティを生み出しています。19世紀後半にニューイングランドの一部で絶滅の危機に瀕し、現在もニューハンプシャー州では絶滅危惧種とされているアビを学ぶには、ホールダーネスのスカム湖自然科学センター（Squam Lakes Natural Science Center）が理想的な場所です。美しいスクアム湖を巡るツアーでは、センターの自然解説員とアビの保護委員会に所属する生物学者が、アビや時折ハクトウワシに目を光らせながら、鳥とその生息地について船客に優しく教えてくれます。

詳細はこちら：DISCOVERNEWENGLAND.ORG/WILDLIFE-ENCOUNTERS

写真: NOAA/ALAMY STOCK PHOTO (左); MARK FLEMING (上)

地元の豆知識

バードウォッチングの名所

MICHAEL BRYANT
ボストン在住の写真家・野鳥観察家 (NatureManMike.com)

「ケンブリッジのマウント・オーバーン・セメタリー（Mount Auburn Cemetery）、ボストン東部のベルアイル・マーシュ・リザベーション（Belle Isle Marsh Reservation）、ウエスト・ロックスベリーのミレニアムパーク（Millennium Park）など、**ボストン**には素晴らしいバードウォッチングスポットがたくさんあるので、みなさん驚くかもしれません。」とBryantさんは言います。しかし彼の行きつけは**フランクリンパーク（Franklin Park）**；「ボストン市内にある485エーカー（196ヘクタール）の広大な緑地には、素晴らしい自然の生息地が広がっています。」「スカボロー池や、文字通り "The Wilderness "と呼ばれる大きな森林地帯があります。ツグミやイースタン・トウヒなど、たくさんの鳴き鳥を見ることができますよ。」また、シジュウカラやヒヨドリなど、一年中見られる鳥もラインナップされています。

コネチカット州のストニングトンにある**バーン島野生生物管理区域（Barn Island Wildlife Management Area）**は、州最大の沿岸管理区域であり、海辺や塩浜のトゲオヒメドリやオウサマクイナなど、コネチカット州固有の鳥類の採餌と巣作りの場として有名です。「キイロアメリカムシクイやホオアカアメリカムシクイなど、あちこちに鳴き鳥がいます。」

ロードアイランド州には、Bryantさんのお気に入りのスポットがさらにいくつかあります。ミドルタウンの**サチュエスト・ポイント国立野生生物保護区（Sachuest Point National Wildlife Refuge）**は、広さ242エーカー（98ヘクタール）の敷地内に200種以上の鳥類が生息しており、海鴨、アビ、カモメ、カワウ、その他の水鳥がここで冬を越します。「春の渡りの時期には、ユキホオジロ、ヒマヒバリ、そしてツグミなどがサチュエスト・ポイントを北上していきます。」一方、近くの**ノーマン・バード・サンクチュアリ（Norman Bird Sanctuary）**では、サバンナ・スパロー、ボブリンク、イースタン・キングバードなど、さまざまな種のために40エーカーの草原が復元されました。

FIND YOUR VIBE.

IN CONNECTICUT.

CTVISIT.com

隠れた名所

新しい地を旅する時、多くの人は最も有名で人気のガイドブックに載るような観光スポットを目指します。ニューイングランドの各州には、世界的に有名な美術館や博物館、絵葉書に描かれるような風情ある街並みや灯台など、この種の観光スポットが数多くあります。

しかし、ニューイングランドを訪れる人は、あまり観光客が通らない道を探すと、特別な喜びを味わうことができます。地元住民に愛される宝物の様な場所や時間を割いて探し求めた人のみが発見できる隠れた名所。印象派の名画を集めた田舎の小さな美術館。川を渡る素敵なガーデンウォークとして生まれ変わったトロッコ橋。近くの牧草地で放牧されている牛のミルクやクリームを使って、手作業でアイスクリームを作る家族経営の農場。旅の思い出は、そんな思いがけない瞬間やちょっとした 驚きに満ちた時間から生まれることが多いのです。ニューイングランドの隠れた名所は、きっとあなたの心に残ることでしょう。

ロードアイランド州：ニューポートから車で30分ほど走ると、花を愛する人たちのために、かつての海岸沿いの屋敷をハウスミュージアムと植物園として一般公開しているブライスウォルド（Blithewold）があります。ブライスウォルドでは春に5万本以上の水仙が咲き誇り、1年のうちで特別な時間を過ごすことができます。（50ページの「秘密の花園」を参照。）

地元の豆知識

思いがけない写真撮影のチャンスをゲット！

PAUL NGUYEN
マサチューセッツ州出身、プロの写真家、写真ツアー&ワークショップ会社BlueHour Photo Ventures経営者(bluehourboston.com)

「マサチューセッツ州**トゥルーロ**や**プロビンスタウン**、アウターケープの砂丘地帯など、フォトツアーで撮ったベストショットがいっぱいあります。マサチューセッツの中でも、ニューイングランドの中でも、他のどの地域とも似て非なる場所なのです。そこには、魔法のような光があるのです。

「アカディア国立公園（Acadia National Park）でフォトツアーを開催していたとき、いつもシュオディック半島（Schoodic Peninsula）を案内していましたが、そこはマウントデザート島（Mount Desert）とはまったく異なる場所でした。そこはまだ人の手が加わっていないアカディア国立公園の一部であり、花崗岩の崖に打ち寄せる波のエネルギーが感じられる場所です。

「ニューイングランドの人々は皆花に夢中です。それは花が咲く時期が短いからかもしれませんね。綺麗な花の写真を撮るためには入念な準備が必要ですね。ルピナスは僕の大好きな花で、多くの人は**ニューハンプシャー州のシュガーヒル**に行くのですが、探すタイミングさえわかれば、メイン州の海岸をドライブするだけでも、いろいろな場所でルピナスを見つけることができます。

「ボストンの中心部にある小さな緑地のひとつ、チャールズリバーのケンブリッジ側にある**ノース・ポイント・パーク（North Point Park）**は、私のお気に入りです。ザキム橋（Zakim Bridge）の写真を撮ったり、花やしだれ柳、小さな運河を楽しんだりすることができるんです。本当に宝物のような場所です。

「実は、**バーモント州**の秋を撮影するのは大変です。インスタグラムでは、バーモント州の絶景撮影スポットが数多く紹介され、それを“見なければならない”と固定観念に悩まされるからです。僕からのアドバイスですか？屋根付き橋、農場、滝など、探検したい秋のテーマを考え、実際に地元の観光センターで地図を手に入れ、ドライブしましょう！何が見つかるか試してみてください。僕にとって、写真で最も価値のあることは、自分自身で何かを発見することなのです。

隠れた名所

アートディスカバリー

ニューイングランドの各州には、国際的に高い評価を得ている美術館を含む、一流の美術館を見学する機会が豊富にあります。ハーバード大学やイェール大学など有名大学の名品コレクションや、ボストンの由緒ある美術館が世界的に有名であることは、確かにうなずけます。もちろん、有名な観光地も見逃せませんが、あまり知られていない場所で素晴らしいアートを発見することも、特別な感動を与えてくれるかもしれません。

ニューハンプシャー州ハノーバーにあるダートマス大学のフッド美術館（Hood Museum of Art）では、最近5000万ドルをかけて改修と拡張が行われ、きらびやかな多層階のショーケースを見逃すわけにはいきません。しかし、アート好きならダートマス大学のキャンパスにいる間、近くのベーカー図書館の下層階にある隠れた名画を探してみてはいかがでしょうか？そこには、メキシコ人画家ホセ・クレメンテ・オロスコが1930年代に描いた広大な傑作「*アメリカ文明の叙事詩（The Epic of American Civilization）*」があります。2013年に米国国定歴史建造物に認定されたこの壁画は、24枚のパネルが約3,200平方フィート（297m²）の壁面を覆い、録音された音声とともに、そのすべてを鑑賞することができます。

また、**バーモント州**のノースイースト・キングダムにあるセントジョンズベリーという小さな町では、まったく異なるユニークなアート体験をすることができます。2000年、アーティストのスティーブン・ヒューネックは、後に「ドッグ・マウンテン」として知られるようになるこの場所に、彼の気まぐれなアートワークで飾られた犬専用のチャペルを作りました。ペットとの絆を大切にする場所として構想されたドッグ・マウンテンは、ヒューネックのステンドグラスや絵画、彫刻に魅了されたアートファンのメッカとなり、チャペルの壁には愛犬との思い出の品が残され、パブリックアートとしての重厚で感動的な作品が多数展示されています。さらに、バーモント州南部のベニントン博物館（Bennington Museum）は、伝説的なアメリカのフォークアーティスト、グランマ・モーゼズの世界最大の作品コレクションを拝めます。

詳細はこちら：DISCOVERNEWENGLAND.ORG/ART-DISCOVERIES

ニューハンプシャー州：ダートマス大学にあるホセ・クレメンテ・オロスコの代表的な壁画シリーズ「*アメリカ文明の叙事詩（The Epic of American Civilization）*」の全体像。

写真：*アメリカ文明の叙事詩（THE EPIC OF AMERICAN CIVILIZATION）*ダートマス大学フッド美術館提供｜ダートマス大学評議員会委託｜P.934.13.15（上）；OLIVER PARINI（右）；MATT KALINOWSKI（前ページ）

バーモント州：セントジョンズベリーでは、バーモント州のフォークアーティスト、故スティーブン・ヒューネックの作品であるドッグマウンテンのチャペルの壁一面に、訪問者の懐かしいペットとの思い出の品が展示されています。

マサチューセッツ州：シェルバーンフォールズのブリッジ・オブ・フラワーズ（花の橋）では、青々とした緑が湖に反射して情緒ある雰囲気を醸し出しています。

隠れた名所

秘密の花園

庭園で至福の時を過ごしたい旅行者には、マサチューセッツ州ボストンのアーノルド樹木園（Arnold Arboretum）やコネチカット州ハートフォードのエリザベスパーク（Elizabeth Park）など、地域の代表的都市の中心部にある名園がおすすめです。しかし、もっと小規模な、あるいは人里離れた場所にある植物園を散策したいという方には、これからご紹介する庭園は、自分だけのオアシスに足を踏み入れたような気分にさせてくれるかもしれません。

マサチューセッツ州で他に類を見ないフォトスポットをお探しなら、シェルバーンフォールズの町を訪れてみてください。1908年に建設されたディアフィールド川にかかるトロッコ橋は、「花の橋」として変貌を遂げ、春先のクロッカスやスイセンから晩秋のケールまで、季節ごとに彩りを変える植物で埋め尽くされています。一年中楽しめる場所としては、ノーサンプトンのスミス大学植物園（Botanic Garden of Smith College）がおすすめです。この植物園には数多くの屋外アトラクションがありますが、中でも広さ12,000平方フィート（1,115㎡）のライマン温室には、熱帯、亜熱帯、砂漠の植物が生い茂り、最高の見どころとなっています。

ロードアイランド州では、宮殿のようなニューポートマンションの敷地内に、一風変わった人工物があります。ポーツマスにあるグリーン・アニマルズは、1870年代にルーツをさかのぼるトピアリー庭園で、平凡な低木がユニコーン、ラクダ、ゾウなどの幻想的な動物園に変身しています。ブリストルのナラガンセット湾を見下ろす広さ32エーカー（13ヘクタール）の歴史的建造物、ブライスウォルド（Blithewold）もニューポート地域の名所のひとつです。ペンシルベニア州の石炭王の別荘として建てられたこの土地には、素晴らしい海の景色だけでなく、500種を超える樹木や低木が植えられており、東海岸で最大と思われるシダレパゴダや100フィート（30.5m）の巨大セコイアなどが見どころです。

詳細はこちら：DISCOVERNEWENGLAND.ORG/SECRET-GARDENS

写真：ISTOCK.COM/ALIZADASTUDIOS

隠れた名所

食の舞台裏

丁寧に作り込まれた料理や飲み物が美味しいのはもちろんですが、それらがどこから来たのかがわかると、なぜかさらに心が満たされるような気がします。作り手と交流し、収穫の様子見学するなど、料理や食の歴史を学ぶ事で普段味わうことのない特別な感動を覚える事でしょう。幸いなことに、ニューイングランドには、このように「地元民」の様な視点でローカルなお酒や食事を楽しむ機会が数多くあり、旅行中にその土地の真の味を堪能することができます。

コネチカット州は、ブドウ園と聞いて最初に思い浮かぶ場所ではないかもしれませんが、この小さな海岸沿いの州には、驚くほど充実したワインシーンがあることを地元の人は皆知っています。コネチカット州のワイントレイルは、20以上のローカルワイン醸造所を結んでおり、テイスティング・ルームや製造主を簡単に見つけることができます。また、多くのブドウ園では、ゆっくりくつろげる工夫が施されています。例えばウォーリングフォードでは、パラダイス・ヒルズ・ヴィンヤード（Paradise Hills Vineyard）にて屋外で食事をした後、近くのグーヴェイア・ヴィンヤード（Gouveia Vineyards）で日曜コンサートシリーズの一環として地元のライブミュージックを楽しむことができます。より広い範囲を網羅したい方には、コネチカット州、マサチューセッツ州、ロードアイランド州の海辺のワイナリーを結ぶ、ニューイングランド南東部のコースタル・ワイン・トレイル（Coastal Wine Trail）をお勧めします。

メイン州：エッジコムのグリデン・ポイント・オイスター・ファーム（Glidden Point Oyster Farms）では、収穫したてのごちそうを味わうことができます。

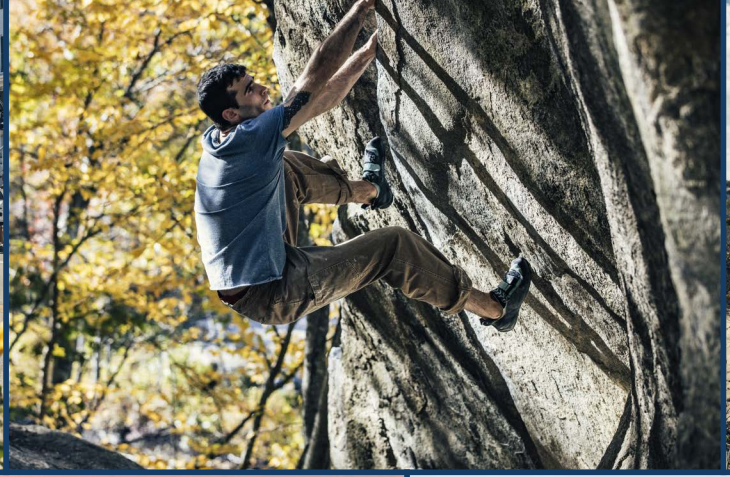
コネチカット州：ウォーリングフォードのパラダイス・ヒルズ・ヴィンヤード（Paradise Hills Vineyard）のトスカーナ風テイスティングルームは、夕日で黄金色に輝いています。

ニューイングランドのワインシーンの活気に驚かれる方はいらっしゃるかもしれませんが、**メイン州**のシーフードの人気は皆さんご存知ですよねメイン・オイスター・トレイル（Maine Oyster Trail）は、州の牡蠣産業に関するインタラクティブな体験で、自然の生息地や牡蠣養殖場、生牡蠣バーや市場の見学ができます。ブランズウィックでのシーカヤック、ダマリスコッタでの牡蠣のテイスティングなど、自分の興味や場所に合わせて旅程をカスタマイズできるのが、このトレイルの最大の魅力です。

詳細はこちら：DISCOVERNEWENGLAND.ORG/BEHIND-THE-SCENES-FOOD

写真：VISIT MAINE（上）；WINTER CAPLANSON（下）

あなたが想像しているロードアイランド州...



あなたが実際に体験する魅力満載のロードアイランド州

RHODE ISLAND

VisitRhodeIsland.com

ディスカバー

コネチカット州

ここには、他の土地にはないエネルギーがあります。キラキラ輝く海岸線と雄大な山々。世界有数のグルメシーンを彩る豊かな味わい。華やかな音楽、ファッション、映画が、活気あふれるシーンを演出しています。多文化フェスティバルから由緒ある観光地まで、さまざまな魅力が私たちのDNAとして受け継がれています。豊かな文化とワクワクするような楽しみがすぐそこに…さぁあなたもコネチカット州へ訪れてみませんか？

首都：ハートフォード

地域観光協議会

Fairfield County > ctvisit.com/fairfield
Greater New Haven > ctvisit.com/new_haven
Litchfield Hills > ctvisit.com/litchfield
Mystic Country > ctvisit.com/mystic
Greater Hartford > ctvisit.com/hartford

連絡先

コネチカット州観光局
450 Columbus Blvd., Suite 5
Hartford, CT USA 06103

観光情報

888-288-4748
CTvisit.com

写真：WINKY LEWIS FOR YANKEE MAGAZINE

ディスカバー

メイン州

ニューイングランドの他の5つの州を合わせた面積とほぼ同じ広さのメイン州では、32,000平方マイルを超える広大な敷地に様々なアドベンチャーが待ち受けています。春にはバードウォッチングやパドリング、夏には新しい山道や海岸沿いの村の散策、秋には鮮やかな色彩を楽しみ、冬には深い雪を満喫するなど、メイン州のアウトドアアクティビティがいかに充実しているかは一目瞭然でしょう。

ロブスターマンとその浮標が海岸に点在し、大型帆船が毎日海岸線をクルーズしているように、メイン州の文化の多くは海から発せられ、この州の海洋遺産を気軽に触れることができます。メイン州は、大自然や個性、そして伝統を大切にし、人々は、深い森と活気に満ちた海岸線の広大な空間に誇りと情熱を抱いています。

メイン州を訪れる人々は、地元で作られた最高のビールや手作りのギフトを探し出す喜び、大西洋から昇る朝日を眺めて心を癒す静けさ、山頂に登るスリルなど、自分なりのインスピレーションを見つけるためにやってくるのです。

首都：*オーガスタ*

地域観光協議会

The Maine Beaches > themainebeaches.com
Portland & Casco Bay > visitportland.com
Maine Lakes & Mountains > mainelakesandmountains.com
Kennebec Valley > kennebecvalley.org
MidCoast & Islands > mainesmidcoast.com
The Maine Highlands > themainehighlands.com
DownEast & Acadia > downeastacadia.com
Aroostook County > visitaroostook.com

連絡先

メイン州観光局
59 State House Station
Augusta, ME USA 04330

観光情報

888-624-6345
877-624-6331 (TTY)
VisitMaine.com

ディスカバー

マサチューセッツ州

美しい自然、趣のある村々、魅力的な芸術と文化、45灯を超える灯台、優れた学問とその成果、豊富なローカルフード、メジャーリーグ最古の球場、バスケットボールの発祥地など、マサチューセッツ州は四季を通じて楽しめることが満載の観光地です。グレーターボストンの歴史、周辺地域、そしてイノベーティブな世界を探索しましょう。アン岬からケープコッドと島々まで、砂浜や沿岸のコテージ、そして新鮮なシーフードが楽しめます。マサチューセッツ州西部と中部は、木々の間を抜けるアドベンチャー、見事な紅葉、冬のハイキング、アウトドアツアー、そして大都市に負けない芸術と文化に溢れています。マサチューセッツのウェルネスリゾートや居心地の良いB＆Bで現実逃避し、モダンでラグジュアリーな空間に浸り、そして静かな海辺の隠れ家でくつろぐ…6つの主要な観光地域には、それぞれ異なる魅力とユニークなアドベンチャーがあり、ベイステートをロードトリップで巡るのもお勧めです。さぁ今すぐマサチューセッツ州への旅を計画しましょう！

首都：ボストン

地域観光協議会

Greater Boston > bostonusa.com

ボストン北部
- **North of Boston** > northofboston.org
- **Greater Merrimack Valley** > merrimackvalley.org

ボストン南部
- **Southeastern MA** > visitsemass.com
- **Plymouth County** > seeplymouth.com

ケープコッドと島々
- **Cape Cod** > capecodchamber.org
- **Martha's Vineyard** > mvy.com
- **Nantucket** > nantucketchamber.org

マサチューセッツ州中部
- **MetroWest** > metrowestvisitors.org
- **Visit North Central Massachusetts/Johnny Appleseed Country** > visitnorthcentral.com
- **Discover Central Massachusetts** > discovercentralma.org

マサチューセッツ州西武
- **Explore Western Mass/Greater Springfield** > explorewesternmass.com
- **Hampshire County** > visithampshirecounty.com
- **Franklin County** > franklincc.org
- **The Berkshires of Western Massachusetts** > berkshires.org
- **Mohawk Trail** > mohawktrail.com

連絡先

マサチューセッツ州旅行観光局
136 Blackstone St., 5th Floor
Boston, MA USA 02109

観光情報

VisitMA.com

ディスカバー

ニューハンプシャー州

ニューハンプシャー州は、ホワイト山地の高い山々、手つかずの川や湖、シーコースト沿いの砂浜など、四季を通じて楽しめる最高のバケーション地です。歴史的を感じさせる都市、ビーチサイドの町、趣のある村々を訪れ、食欲をそそる農場直送のディナーを、近くのブドウ園で作られた冷たい地ビールやワインと一緒に楽しんでみませんか？ ショッピングを楽しみたい方は、ブティックやアウトレット、雑貨店などでニューハンプシャー州産の一品“宝物”を探してみてはいかがでしょうか？州内全域消費税が無いのもありがたいですよね。コロニアル・ビレッジや独立戦争の史跡で歴史に浸るのもよいでしょう。また、音楽フェスティバルや演劇、ヘリテージ・ミュージアム・トレイル（Heritage Museum Trail）にある博物館など、現代的な体験ができるスポットも充実しています。ニューハンプシャー州という1つの場所で、ニューイングランドが誇る様々なレクリエーションをぜひご堪能ください。

首都：*コンコード*

地域観光協議会

Seacoast > portsmouthchamber.org, hamptonchamber.com
Lakes > lakesregion.org, lakesregionchamber.org
White Mountains > visitwhitemountains.com, visitmwv.com
Great North Woods > northerngatewaychamber.org, androscogginvalleychamber.com
Dartmouth/Lake Sunapee > lakesunapeeregionchamber.com, uppervalleybusinessalliance.com
Monadnock > keenechamber.com, monadnocktravel.com
Merrimack Valley > concordnhchamber.com, manchester-chamber.org

連絡先

ニューハンプシャー州旅行・観光局
100 N. Main St.
Concord, NH USA 03301

観光情報

603-271-2665
VisitNH.gov

ディスカバー

ロードアイランド州

ロードアイランド州は、北米で最も絵になる灯台と400マイルに及ぶ銀色の海岸から、歓迎の灯を放っています。その海岸線は、自然愛好家、パドラー、ビーチ好きの人々、そして水路を楽しむボーターに簡単にアクセスできるようになっています。サウスカウンティ（South County）には、大西洋に沿って波が打ち寄せる、公共ビーチが20ヶ所近くあります。ブロックアイランドの壮大な断崖とドラマチックな眺めは、訪れる人を魅了します。ニューポートは「海辺の街」として知られ、歴史的なシーポート、アメリカ黄金期の大邸宅、そして海の崖に沿って続く息を呑むようなクリフウォークが見ものです。州都プロビデンスは、アイビーリーグと呼ばれる名門大学、芸術、演劇、華やかなナイトライフ、盛んなグルメシーンで活気に満ちています。プロビデンスの3つの川のほとりには100個以上のかがり火が灯され、人々が集まるウォーターファイアの時期には、街中が華やぎます。ロードアイランド州北部のブラックストーン・バレーには、アメリカ産業革命の発祥地として知られるスレイター・ミル（Slater Mill）をはじめ、国内で最も重要な史跡が複数存在します。州の魅力の大部分は、森、入り江、湾、島々、田舎道などに隠されています。だからこそ、Brand USAはロードアイランド州を "2023年のアメリカのベスト・ケプト・シークレット（最高の穴場）"として選んだのです。

首都：*プロビデンス*

地域観光協議会

Blackstone Valley > tourblackstone.com
Greater Providence/Bristol County > goprovidence.com
Warwick > visitwarwickri.com
South County > southcountyri.com
Newport County > discovernewport.org, newportout.com
Block Island > blockislandinfo.com

連絡先

ロードアイランド州観光局
315 Iron Horse Way
Providence, RI USA 02908

観光情報

800-556-2484
VisitRhodeIsland.com

ディスカバー

バーモント州

バーモント州は唯一無二の場所。そう、そこは忙しい日々から一歩立ち止まって、ゆっくり周りを見渡すことであなたの人生をより豊かにする、そんな場所です。バーモント州の田園地帯は、山の絶景を堪能したり、湖や池、トレイルを探検したりと、季節を問わず楽しめるアトラクションが満載です。昼も夜も、歴史あるダウンタウンでは、楽しい掘り出し物の発見、農家から直送のおいしい料理、世界一流のクラフトビールがあなたをお出迎えします。バーモント州は、あなたを癒し、元気づけ、また新たな一歩を踏み出す勇気を与えてくれるでしょう。

首都：モントピリア

地域観光協議会

Champlain Valley > addisoncounty.com
Lower Connecticut River Valley > lovebrattleborovt.com
Upper Connecticut River Valley > woodstockvt.com
Greater Burlington > helloburlingtonvt.com
The Shires > exploretheshires.com
Northeast Kingdom > northeastkingdom.com
Champlain Islands > champlainislands.com/region-index
Capitol Region > montpelieralive.com
Northwest Vermont > downtownsaintalbans.com
Okemo Valley > yourplaceinvermont.com
Deerfield Valley > visitvermont.com
Upper Green Mountains > bestofvtroute100.com
Stone Valley > realrutland.com

連絡先

バーモント州観光・マーケティング局
One National Life Dr., 6th Floor
Montpelier, VT USA 05620

観光情報

800-837-6668
VermontVacation.com

Discover New England
SUPPORTING MEMBERS

Mohawk Trail Region

A Perfect Getaway –
Something for Everyone

PO Box 1044, North Adams, MA 01247

www.MohawkTrail.com • 413-743-8127

discover CENTRAL MASSACHUSETTS

Picturesque landscapes meet historic towns;
a captivating blend of natural beauty
and cultural heritage.

311 Main St., Ste. 200, Worcester , MA 01608

www.DiscoverCentralMa.org • 508-753-1550

DATTCO COACH & TOUR

583 South St.
New Britain, CT 06051

www.Dattco.com
860-229-4878

GREATER MERRIMACK VALLEY
Convention & Visitors Bureau
#AdventuresAwait

PO Box 8370
Lowell, MA 01854

www.MerrimackValley.org
978-459-6150

CONWAY SCENIC RAILROAD

38 Norcross Circle
PO Box 1947
North Conway, NH 03860

www.ConwayScenic.com
603-356-5251

BRADLEY INTERNATIONAL
LOVE THE JOURNEY

Schoephoester Road
Hartford, CT 06096

www.BradleyAirport.com

DISCOVER NEWPORT
RHODE ISLAND

44 Long Wharf Mall
Newport, RI 02840

www.DiscoverNewport.org
401-845-9132

make waves!
NORTH of BOSTON
Convention & Visitors Bureau
NorthofBoston.org
MASSACHUSETTS
visitma.com
Photo by Amanda Johnston, 7 Seas Whale Watch

The GILDED AGE
AT THE NEWPORT MANSIONS

Rosecliff

Marble House

The Elms

The Breakers

Spectacular Settings
Exceptional Elegance
Fascinating Families

The Gilded Age comes alive with engaging audio tours of The Breakers, The Elms, Marble House & Rosecliff. Hear the fascinating stories of people who lived and worked in these grand mansions in Newport, Rhode Island.

NEWPORT® MANSIONS

NewportMansions.org

Discover New England
SUPPORTING MEMBERS

Cape Cod Chamber of Commerce
5 Patti Page Way
Centerville, MA 02632

CapeCodChamber.org
508-362-9351

Discover Quincy
1305 Hancock St.
Quincy, MA 02169

DiscoverQuincy.com
617-404-6093

Lafayette Hotels
700 Main St.
So. Portland, ME 04106

VisitLafayetteHotels.com
207-774-6157

Settlers Green
2 Common Ct.
Unit C13
North Conway, NH 03860

SettlersGreen.com

Destination Salem
245 Derby St.
Salem, MA 01970

Salem.org
978-741-3252

Greater Springfield Convention & Visitor Bureau

ExploreWestern Mass.com
413-787-1548

Town of Bethlehem

BethlehemNH.org
603-869-3351

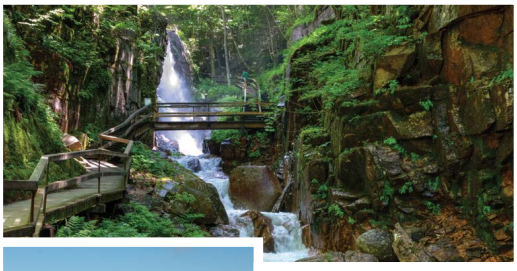
American Bus Association

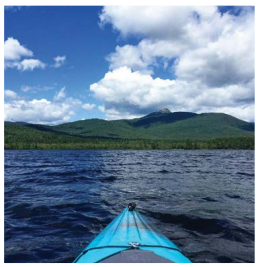
Busses.org
800-282-2877

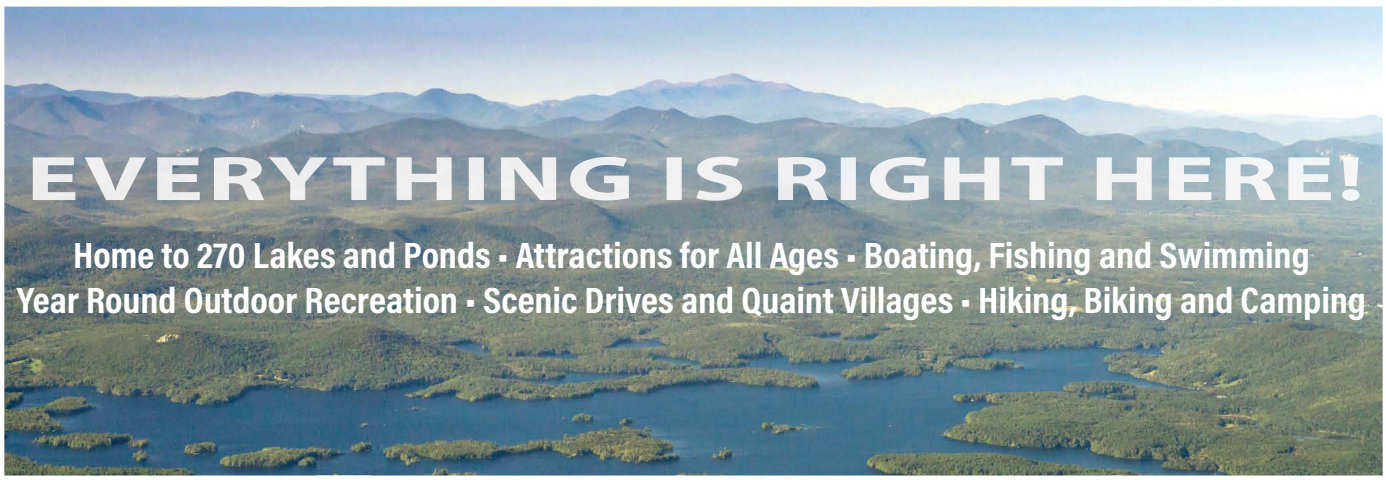
Salem Witch Museum

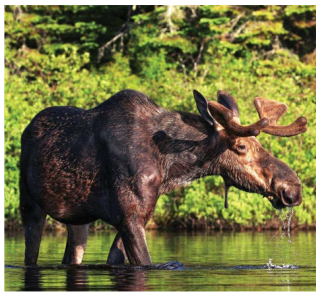
SalemWitch Museum.com
978-744-1692

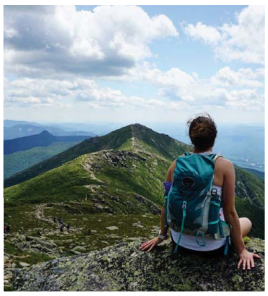
NEW HAMPSHIRE'S LAKES AND MOUNTAINS

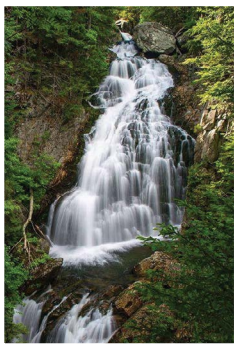












For Guides, Trip Ideas, Itineraries, Maps, and more

visit **NHLakesandMountains.com**

NEW HAMPSHIRE'S LAKES AND WHITE MOUNTAINS

New Hampshire
LIVE FREE
VISITNH.GOV

In Any Season,
For Any Reason

BOSTON
NEVER
GETS OLD

Meet BOSTON

MeetBoston.com

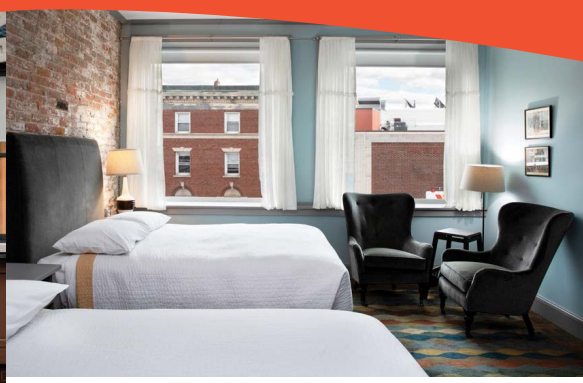
life is calling

the berkshires
Western Massachusetts

The Berkshires

YEAR-ROUND ADVENTURE, RENEWAL, WONDER

EXPLORE AT BERKSHIRES.ORG | **STAY** AT HOTELONNORTH.COM



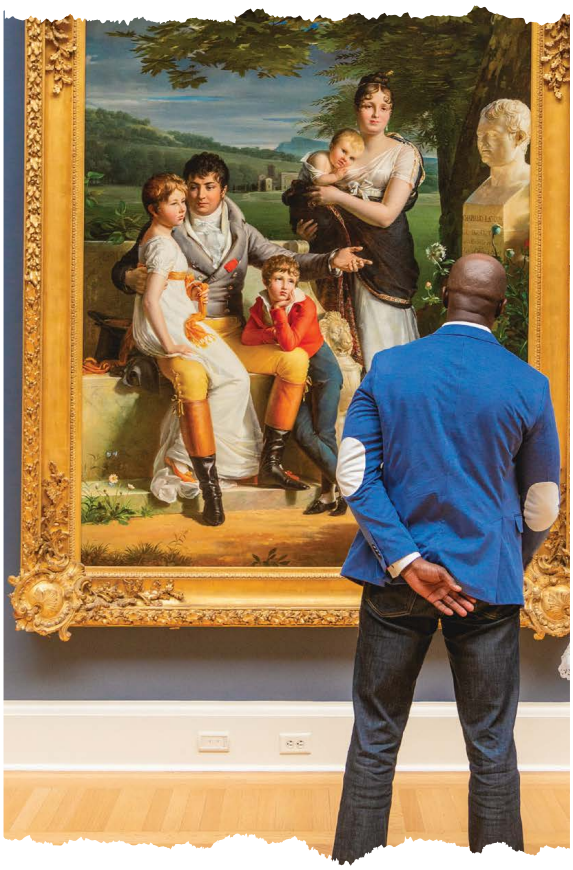
HOTEL ON NORTH

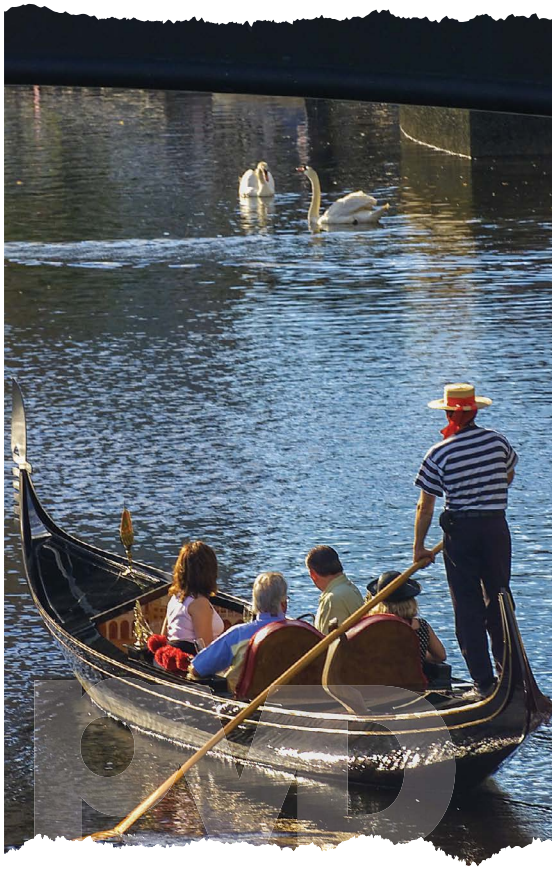
FLY DELTA TO BOSTON AND BEYOND.
DISCOVER NEW ENGLAND.

Customers looking for summer adventures abroad will discover plenty of inspiration in Delta's service offerings to the U.S. To Boston, Delta will operate eight transatlantic routes with up to 63 weekly nonstop flights from Amsterdam, Athens, Paris, Dublin, Edinburgh, Rome, London and Lisbon this summer.

KEEP CLIMBING

DELTA





PICK YOUR PROVIDENCE

Providence, Rhode Island was founded on the notion that you should be able to do what you want to do and think what you want to think. We take that to heart. Bring your family or travel solo. Indulge in delicious meals or bike through scenic cityscapes. Spend the day exploring a world-famous museum or relax in a gondola watching the world glide by.

We have so much to do, see, eat, play, create, watch — the combinations are endless. It's up to you.

Start Planning Now At **GoProvidence.com**

GoPVD PROVIDENCE RHODE ISLAND

Kayak to your own ocean oyster-tasting.

Coastal photo expeditions by boat.

Urban photo hike in downtown Portland.

Imagine adventure in its perfect state.

NAVITOUR MAINE

Gain a lifetime of shareable, unforgettable experiences in just a few days.
Adventures start with NaviTour.

Tours of maritime history and West Indies trade.

Forest journeys to sight wild moose.

Birding, seal watching, and photos by boat.

Scenic canoe trip to Allagash Falls.

Guided flyfishing in pristine waters.

Three-day bicycle trek, idyllic Katahdin region.

navitour.com **+1-207-200-5149**